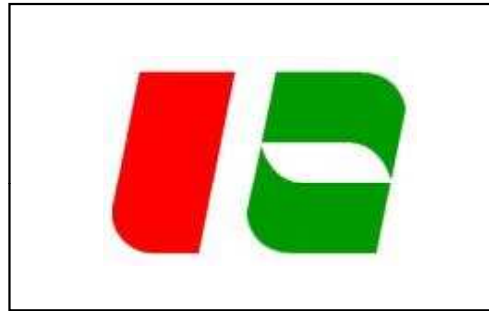


# 消 防 年 報

平成28年版  
(2016年)



西 宮 市 消 防 局

平成29年 (2017年) 刊行第65号

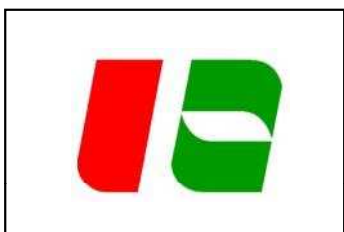
## 西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

## 市旗



明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木～くすのき



市花～さくら

震災復興コンセプト

**「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして**

# ま え が き

この年報は、平成28年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、その他災害、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

平成29年（2017年） 8月

西宮市消防局

## 概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道、西宮北有料道路などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリーナゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することで、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。この本市まちづくりの基本理念である「文教住宅都市」をさらに発展させ、西宮市のもつ教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぐ「環境学習都市宣言」を行い、よりグレードの高いまちづくりの実現を目指しています。



## 目

平成28年度に実施した主な事業	
消防車両整備事業	9
消防団車両整備事業	10
消防団車庫整備事業	10

概 況	
西宮市の消防	13
各種出動状況	14
緊急消防援助隊派遣状況	14
火災、その他災害、救助、救急 件数の推移	15
西宮市消防の沿革	16
所属別情勢	31
平成28年度重点目標	32
消防局の組織及び事務分掌	33
消防署の組織及び事務分掌	34
職員配置状況	35
年度別職員数状況	35
職員年齢状況	35
職員勤続年数状況	35
消防自動車等保有状況	36
消防情勢の推移	37
自主防災組織・家庭防火クラブ等 結成状況	38
消防協力隊結成状況	38
消防水利の状況	39
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	39
消防相互応援協定締結状況（その1）	40
消防相互応援協定締結状況（その2）	41
消防庁舎の概要	42
庁舎配置及び管轄区域	43

## 次

総 務	
総務の概要	47
消防予算	48
一般会計予算と消防予算の推移	49
消防予算市民負担の推移	49
職員研修状況	
派遣研修（その1）	50
派遣研修（その2）	52
職場研修	53
消防吏員階級別資格取得状況	54
公務災害等発生状況	55
消防表彰等の状況	56
消防音楽隊の状況	57

広 報 及 び 広 聴	
広報及び広聴の概要	61
広報活動状況	61
資料配布及び刊行物発行	62
広聴事務処理状況	62
消防情報の提供（報道機関等）	62

## 予 防 行 政

予防行政の概要	65
防火対象物現況表	66
防火管理者選任及び消防計画届出現況表	67
防火対象物査察・検査実施状況	68
用途別中高層(5階以上)防火対象物状況	69
防火管理に関する講習の実施状況	70
建築物確認申請等処理状況	70
12条報告・仮使用承認等処理状況	70
危険物製造所等許可施設状況	71
危険物製造所等類別許可施設状況	71
所管別危険物施設等現況及び査察状況	72
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況	73
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況	73
少量危険物・指定可燃物 液化石油ガス等届出施設状況	73
住宅防災診断実施状況	74
住宅防災診断指導件数	74

## 火 災 統 計

火災の概要	77
火災の状況	79
曜日別火災発生状況	80
主要出火原因の推移	80
時間別火災発生状況	81
火災種別出火件数	82
火災件数の推移	82
火災損害額状況	83
原因別出火件数	83
月別火災発生状況	84

5ヵ年比較火災発生状況	85
署別火災発生状況	86
用途別建物火災発生状況	87
建物火災焼損面積の推移	88
覚知別出火件数	88
放火件数の推移	89
放火の曜日別出火件数	89
放火の時間別出火状況	89
放火による着火物	89
隣接都市火災等応援(被応援)出動状況	90
高速道路における隣接都市 火災等応援(被応援)出動状況	90
主な火災発生状況	90

## そ の 他 災 害

その他災害の概要	93
所属別その他災害発生状況	94

## 水 防 統 計

水防災活動状況	97
---------	----

## 救 急 統 計

救急の概要	101
救急出動件数	102
救急出動件数・搬送人員の推移	102
事故種別出動件数及び搬送人員	103
事故種別出動件数の推移	103
事故種別傷病程度別搬送人員	104
傷病程度別搬送人員の推移	104
年齢区分別事故種別搬送人員	105
年齢区分別搬送者の推移	105
月別救急出動件数	106
曜日別救急出動件数	106
時間別救急出動件数	107
医療機関別搬送状況	108
隣接都市救急応援（被応援）出動状況	108
現場到着及び病院収容所要平均時間	109
現場到着及び病院収容所要 平均時間の推移	109
応急処置等の状況	110
西宮市医師同乗制度の状況 （ドクターカーシステム）	110
心原性かつ一般市民による 目撃のあった心肺停止者数	111
心原性かつ一般市民による目撃 のあった心肺停止者数と一般市民 による心肺蘇生実施数の推移	111
心原性かつ一般市民による目撃 のあった症例の生存率及び 社会復帰率の推移	111
所属別救急講習実施状況	112
救急講習実施回数及び受講者数の推移	112

熱中症による救急搬送状況の週別推移	113
熱中症による救急搬送状況の推移	113
救急出動状況	114
救急隊別出動状況	115
月別・休日・曜日別救急出動状況	116

## 救 助 統 計

救助の概要	119
救助出動状況	120
発生場所別出動状況	121
月別救助出動状況	122
救助出動状況の推移	123
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	124
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	124
主な救助器具配置状況	125

## 消 防 通 信

指令業務の概要	129
消防通報用電話（119番）月別受信状況	130
消防通信施設の状況	131
気象情報等月別発令状況	132
発令された防災指令等	132
消防テレホンサービス利用状況	133

## 車 両 整 備

車両整備の概要	137
車両の購入	137
点検整備等	138

## 消 防 団

西宮市消防団の沿革	141
消防団の組織	143
消防団自動車現況	144
消防団員在職年数状況	145
消防団員年齢状況	145
消防団費と市民負担	146
消防団出動状況	146
消防団訓練実施内容	146
派遣研修及び教育訓練実施状況	146
団員の職業別	147
表 彰	147



# 平成28年度に 実施した主な事業



緊急消防援助隊出発式  
熊本地震



## 消 防 車 両 整 備 事 業



水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)  
【甲東分署】



はしご付消防ポンプ自動車(はしご車)  
【瓦木消防署】



活動支援車  
【浜分署】



活動支援車  
【山口分署】

## 消防団車両整備事業



消防ポンプ自動車  
(今津分団、神呪分団、小松分団、鳴尾東分団)

## 消防団車庫整備事業



段上分団車庫

# 概 況



文化財防火デー消防訓練



# 西宮市の消防

(平成29年4月1日現在)

## 《消防施設と人員》

消防局	1 (整備センターを含む)
消防署	4
消防分署	4
消防自動車等	76 (非常用車両を含む)

## 《消防団》

消防団本部	1 (消防局庁舎内)
分団数	33分団 (7地区)
分団車庫	38箇所
消防自動車等	39台

	定数	実員		定数	実員
消防職員	522人	418人	消防団員	755人	720人
実員の内訳			実員の内訳		
〔 消防吏員 418人 〕			〔 団 長 1人 〕		
〔 (派遣職員23人を除く) 〕			〔 副 団 長 7人 〕		
			〔 分 団 長 33人 〕		
			〔 副 分 団 長 36人 〕		
			〔 部 長 37人 〕		
			〔 班 長 111人 〕		
			〔 団 員 469人 〕		
			〔 機能別団員 26人 〕		

## 《平成29年度消防予算》

63億2,053万円

## 平成28年中の各種出動件数

### 《火 災》

火災件数 86件  
 (平成27年中 110件)  
 西宮市で4.3日に1件の割合で火災が発生した  
 こととなります。  
 損害額 2億6,239万4千円  
 (平成27年中 5,771万8千円 )  
 火災1件あたりの損害額は305万1千円となり、  
 市民1人あたりでは537円となります。

死 傷 者 〔 死 者 0人 〕  
 〔 負傷者 15人 〕

平成27年中 〔 死 者 1人 〕  
 〔 負傷者 13人 〕

### 《その他災害》

その他災害出動件数 971件  
 (平成27年中 961件)

### 《救 急》

救急出動件数 22,850件  
 (平成27年中 22,373件)  
 西宮市で1日平均62.4件出動したこと  
 となります。  
 (平成28年中) (平成27年中)

1 急 病 14,463件 14,009件  
 2 一般負傷 3,797件 3,735件  
 3 交通事故 1,812件 1,782件  
 4 上記以外 2,778件 2,847件  
 となっています。

### 《救 助》

救助出動件数 436件  
 (平成27年中 416件)

## 各種出動状況

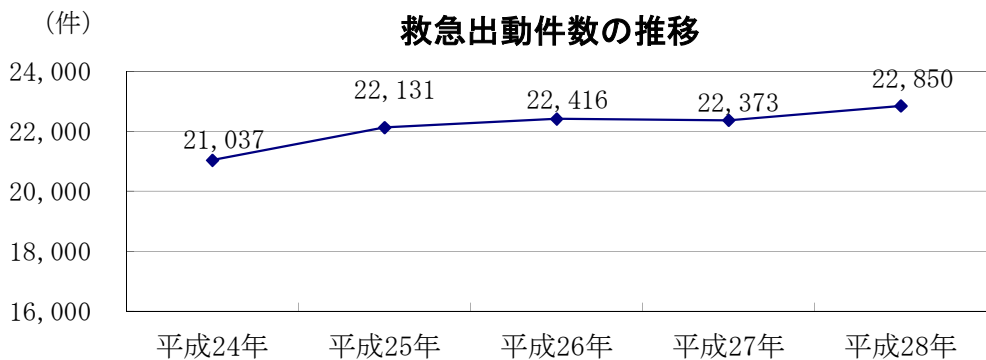
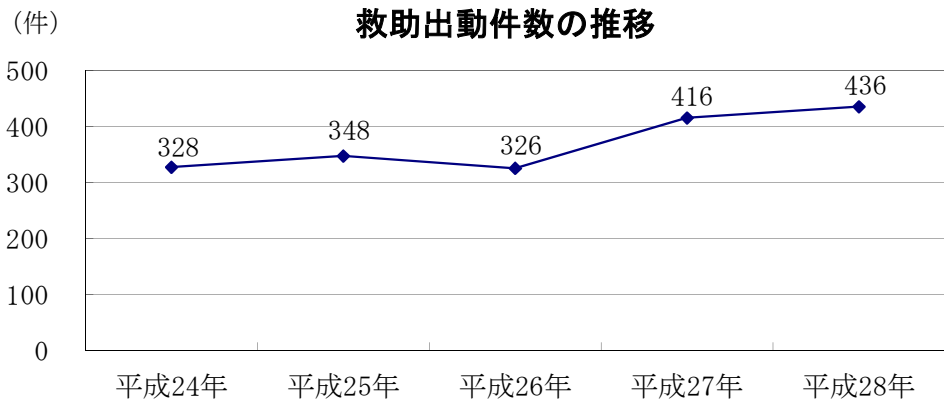
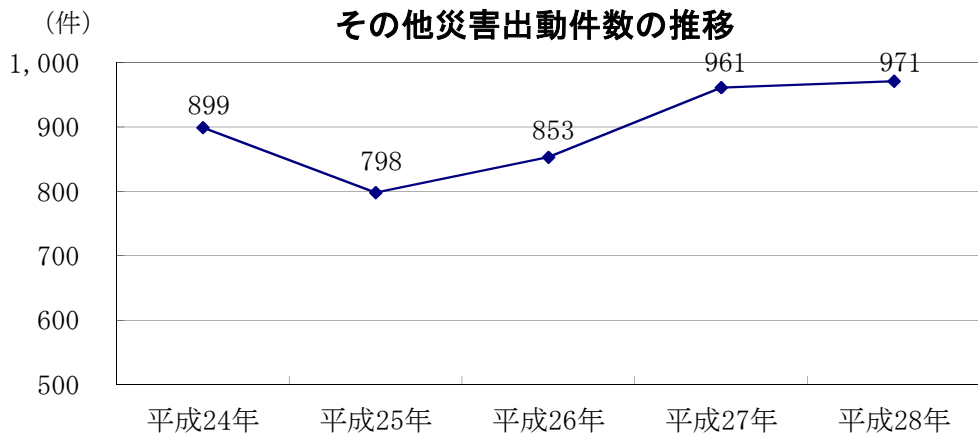
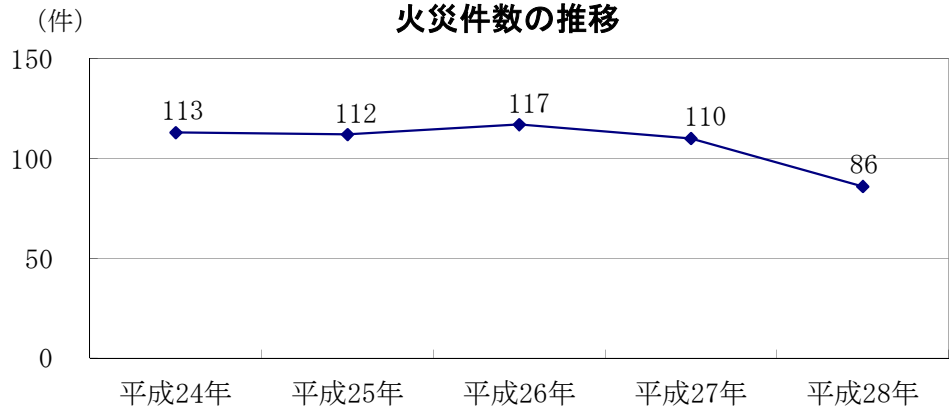
(平成28年中)

		種 別	出動件数	出動台数	出動人員
緊 急 出 動  業 務	火 災 出 動	火災件数	86	342	1,266
		死 者	0		
		負 傷 者	15		
		1日当りの火災件数	0.2		
	そ の 他 災 害 出 動	その他災害出動件数	971	1,196	4,558
		緊急措置	152		
		緊急確認	288		
		支援活動	228		
		その他	77		
		補完	226		
	救 助 出 動	救助出動件数	436	1,066	3,811
		救助人員	196		
		1日当りの救助出動件数	1.2		
	救 急 出 動	救急出動件数	22,850	22,850	69,086
		傷病者搬送人員	20,912		
		ドクターカー出動件数	24		
1日当りの救急出動件数		62.4			
合 計			24,343	25,454	78,721

## 緊急消防援助隊派遣状況

区分 出動場所	月 日	出動車両	出動人員
熊本県山鹿市 熊本市東区及び北区 上益城郡益城町 阿蘇郡高森町 " 南阿蘇村	平成28年4月16日 ~ 平成28年4月22日  計7日間	都道府県大隊指揮隊 救助小隊 救急小隊 後方支援小隊 2隊 引揚支援隊  7日間延べ派遣隊数 52隊 (派遣隊数 6隊)	7日間延べ人員 186名  (派遣人員39名)





## 西宮市消防の沿革

昭和16年	消防署の設置	9月	兵庫県告示第1103号をもって西宮市に特設消防を設置、消防職員38名、消防自動車2台をもって西宮市六湛寺町、西宮警防団常備部屯所を仮庁舎として開庁
昭和18年	鳴尾出張所の開設	8月	武庫郡鳴尾村が当署管轄区域に編入、同時に鳴尾村常備消防屯所が鳴尾出張所として開設
	消防署本庁舎竣工	10月	西宮市今津永井町11の5に西宮消防署本庁舎竣工、仮本庁舎より移転業務開始
	六湛寺町出張所の増設	10月	仮本庁舎であった六湛寺の庁舎は六湛寺出張所として開設
昭和19年	出張所の増設	2月	海岸出張所の開設
	出張所の増設	2月	武庫郡鳴尾村に東鳴尾出張所開設
	出張所の増設	3月	武庫郡鳴尾村に昭和電極出張所開設
昭和20年	芦屋中隊の増設	2月	防発第191号の通牒をもって同年4月より芦屋市、武庫郡本山村、本庄村に消防中隊が分駐し、仮出張所を開設
	西宮消防大隊の編成	4月	防秘訓第10号の通達により、西宮消防大隊部隊編成、4ヶ中隊編成される
	管轄区域の改正	5月	芦屋市、武庫郡本庄村、本山村、良元村及び川辺郡小浜村、長尾村が当署管轄区域に編入
	鳴尾出張所新庁舎竣工	5月	武庫郡鳴尾村字西の口に鳴尾出張所新庁舎竣工、業務開始
	出張所の廃止	8月	東鳴尾出張所、昭和電極出張所を廃止
昭和21年	管轄区域の改正	2月	武庫郡良元村及び川辺郡長尾村、小浜村各出張所は伊丹消防署管内に編入、当署管轄区域を改正
昭和22年	出張所の廃止	3月	訓令甲第13号をもって六湛寺出張所を廃止
	管轄区域の改正	4月	兵庫県告示第252号をもって特設消防署管轄区域を改正、芦屋消防署新設により当署管轄区域より、芦屋市、武庫郡本庄村及び本山村を削除
	消防組織法公布	12月23日	消防組織法(法律第226号)が公布され消防は警察機構から分離して、市町村に移管され、市町村の責任管理となる
昭和23年	管轄区域の改正	3月	兵庫県訓令甲第3号をもって鳴尾村消防本部新設につき当署管轄区域より鳴尾村を削除、同日鳴尾出張所を廃止

	自治体消防の発足	3月	従来の官設消防署は自治体に移設、西宮市消防本部及び西宮消防署と改称、現有人員、装備等をもって、これを引継ぎ、ここに市民の要望に応え民主的な自治体消防として発足した 発足当時の組織及び機構 消防本部の機構 消防本部長のもとに次長制 5課1署5係 消防職員76人 消防主力機械5 其他1
	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1本部 2消防署 消防職員106人 消防主力機械7 其他2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の2台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車が完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話2基（基地局1 移動局1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町1番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車4台でもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車1台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17mはしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局1 移動局6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制4係とする
	LPガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者5名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置

	車 両 配 置 の 再 編	1月	鳴尾消防署に17mはしご付消防ポンプ自動車を配置
	消防本部及び西宮消防署 新庁舎 竣工	1月	西宮市津門大塚町1番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置 完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置（1本部2消防署2出張所）が完成、運用開始
	機 構 改 革	10月	従来の5課制から総務課、消防課、予防課の3課制に統合9係とする。 消防本部の機構 消防本部長－次長－3課－9係 消防署 2署 2出張所 消防職員168人 消防主力機械20
昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始、同年5月に西宮消防署甲東出張所を廃止し、1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
	車 両 配 置 の 再 編	1月	西宮消防署瓦木分署にシュノーケル車を配置

昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4 隊
	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を増強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
昭和49年	機 構 改 革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長－次長－3課－11係となる
	高発泡車配置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置
	機 構 改 革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長－次長－4課－12係となる  従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く
	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の条件整備を図る
昭和50年	42 m はしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	3月	(1) 西宮消防署瓦木分署に32mはしご付消防ポンプ自動車を配置 (2) 甲東消防署にシュノーケル車を配置
	機 構 改 革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署1分署1出張所となる
昭和51年	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図った

昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消防局瓦木分室（救急救助課）が運用していた救急車を配置替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機 構 改 革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局（本局）に移す (4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする (5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導係に改称する (6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した (7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替えのため鳴尾町2丁目所属照寂公園に仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始
昭和55年	42 m はしご車配置	2月	42mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工（旧庁舎敷地跡）
	定 数 改 正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機 構 改 革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図る
	救 助 工 作 車 配 置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任（消防司令補）を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施（増築30.75㎡）
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自 主 防 災 組 織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足

昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始
	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始
	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
昭和63年	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第2市波無線局を開設し、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足
	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の2以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止、これに伴い瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始

	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
平成元年	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた
平成2年	機構改革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資器材搬送車配置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車を配置
平成3年	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮名塩新町7番地1に北消防署の移転新築に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合せて観測点を2カ所とした
	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救急消毒室設置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救急Ⅱ課程制度	12月	兵庫県消防学校救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
平成4年	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始
	ガスクロマトグラフの導入	2月	ガスクロマトグラフを導入し、予防課に配置（～平成7年1月）
	防災指導車配置	2月	予防課に防災指導車を配置



	救急消毒室設置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	救急Ⅱ課程制度	5月	阪神地区救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
	人員搬送車配置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足
平成5年	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	西宮市で初めての救急救命士が誕生し、西宮消防署へ配置
	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
平成6年	機構改革	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 管理部に企画課を新設</li> <li>(2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称 開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した</li> <li>(3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した</li> <li>(4) 消防部管制室の管理担当を廃止した</li> <li>(5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる</li> </ul>
	救急救命士	4月	救急救命士を鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士を瓦木消防署へ配置
	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
平成7年	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	電動ホースレイヤーの導入	3月	北消防署のポンプ車に、電動ホースレイヤーを導入 (以降、ポンプ車に順次整備)
	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去

	救 急 救 命 士	4月	救急救命士を北消防署へ配置
	機 構 改 革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を西宮消防署北夙川分署へ配置
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（発電・照明・動力台車付）を配置
	救 援 車 等 配 置	12月	救援車（4台）、小型動力ポンプ積載車（10台）を各消防署及び消防分署等に配置
	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
平成8年	消 防 水 利 の 整 備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始
	消 防 水 利 の 整 備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消 防 水 利 の 整 備	3月	飲料水兼用型耐震性100m <sup>3</sup> 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
	機 構 改 革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救 急 救 命 士	4月	救急救命士を瓦木消防署甲東分署に配置
	高度救助用器具の導入	8月	高度救助用器具の整備を開始し、画像探索機（Ⅰ型・Ⅱ型）、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置を配置
	計 測 震 度 計 の 設 置	8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設
	災害対応ネットワークの運用	9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」（フェニックス防災システム）を運用開始
	西宮市消防協力隊の結成	10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を北消防署山口分署に配置し市内全消防署に配置が完了した
平成9年	全 国 共 通 波 の 整 備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設

平成10年	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視
	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備
	機構改革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設
	消防音楽隊10周年	3月	消防音楽隊10周年記念演奏会を挙行了した
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m <sup>3</sup> 貯水槽を山口支所前に設置
	定数改正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機構改革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を經由して携帯電話からの119番通報を受信開始
平成11年	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
	定数改正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
平成12年	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人(救急救命士含む)をもって業務開始
	機構改革	4月	署に救急第1係、救急第2係を新設
	航空隊派遣	4月	兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)

平成13年	機 構 改 革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター（課）を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署に専任救助隊を設置し、消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	車 両 配 置 の 再 編	4月	北消防署にシュノーケル車を配置
	ホ ー ム ペ ー ジ 開 設	12月	消防局ホームページを開設した
	特殊災害用資機材の導入	12月	サーバイメーター及びポケット線量計を導入
平成14年	定 数 改 正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女 性 消 防 吏 員 採 用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服 制 改 正	4月	消防職員の服制を改めた
	特殊災害用資機材の導入	9月	除染用資機材（除染テント・シャワー）を導入
	電 子 メ ー ル 増 設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
	救助工作車Ⅲ型配置	12月	救助工作車Ⅲ型が完成、西宮消防署専任救助隊に配置
平成15年	M C 体 制 確 立	3月	メディカルコントロール体制を確立した
	ネミス(NEMIS) ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス(NEMIS) ネットとして運用開始した（～平成28年3月）
	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
平成16年	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行了した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した(平成28年12月から文書管理システムに移行)
	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した

	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害（福井県美山町）へ緊急消防援助隊として出動した
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車（コンテナ積替装置〔水難救助・BC災害・空気充填機〕）を配置
平成17年	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	J R福知山線列車事故に応援出動	4月	J R福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
	支援車配置	10月	北消防署に支援車（ボンベ収納庫、空気充填機、応援出動用資機材〔野営テント他〕）を配置
	携帯電話からの119番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した
	査察体制の強化	12月	西宮市消防特命査察隊の発足
平成18年	全国共通波の整備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	消防学校教官派遣	4月	兵庫県消防学校への教官派遣を開始した
	西宮市消防特命査察隊の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
	予防技術資格者の認定	6月	予防技術資格者制度に基づき、22人を消防長が認定した（以降、順次認定）
	A E D貸出事業開始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、A E Dの貸出を開始した
	35 m はしご車配置	10月	35m先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車が完成、北消防署に配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
平成19年	全国共通波の整備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定数改正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	市長事務部局への出向	4月	市防災・安全局の設置に伴い、職員の出向派遣を開始した
	A E D設置事業	5月	市立学校関係にA E D設置を行った
	救急波の更新整備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
平成20年	消防音楽隊20周年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会（中核市移行記念）を挙行了した
		4月	西宮市が中核市へ移行した
	地震警報器の導入	5月	地震警報器を導入し、消防課に配置
		7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊とした

平成21年	キャブ装置の導入	12月	西宮消防署の水槽付消防ポンプ自動車に、キャブ装置を導入（以降、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車に順次整備）
	危険物同定装置の導入	12月	危険物同定装置を導入し、西宮消防署高度救助隊に配置
	大型化学車の配置	12月	大型化学消防ポンプ自動車Ⅲ型が完成、甲東分署に配置
	機構改革	4月	消防局長一次長－6課－17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した (3) 消防課に指揮第1係、指揮第2係の新設に伴い、本部指揮隊を配置した
	阪神ブロック代表	4月	兵庫県下消防長会阪神ブロック代表消防本部となる
平成22年	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
	AED設置施設表示制度	5月	AED設置している民間事業所に、そのAEDの一般使用について協力を依頼し、AED設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
	ドライブレコーダーの導入	3月	交通事故対策装備として、ドライブレコーダーの導入を開始した
平成23年	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名（活動延人員290隊981名）を宮城県亘理郡山元町などに派遣した
平成23年	機構改革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した (6) 北消防署に北部指揮隊を配置した

	車両配置の再編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署に消防ポンプ自動車を配置した
	消防緊急情報システム更新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) Web119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更 (5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等を取得 (6) 車両運用端末装置(AVM装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防OA支援情報システムをナイスネット端末に接続
	瓦木消防署甲東分署耐震化改修	11月	瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
平成24年	鳴尾消防署耐震化改修	3月	鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機構改革	4月	課長補佐級制度の廃止(職名は当分の間残置)及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
	副士長制度の廃止	4月	職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	活動支援車の配置	10月	警防課整備センターにウイング式トラック型の活動支援車を配置した
	特殊災害用資機材の導入	10月	東日本大震災を受け、表面汚染用放射線測定器を導入
	救助工作車の配置	12月	瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
平成25年	電磁波探査装置	12月	電磁波探査装置を導入し、瓦木消防署に配置
	人員輸送車の配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した
	救急救命士養成所への教官派遣	4月	兵庫県救急救命士養成所教官への教官派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)

平成26年	西宮浜出張所増改築	12月	西宮浜出張所の増改築工事を完了した
	人材育成基本方針策定	2月	西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
	管轄区域の変更	4月	西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
平成27年	西宮浜出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	機構改革	4月	三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
	消防救急無線のデジタル化完了	4月	消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
平成28年	危険物行政の強化	8月	引火点試験器を更新し、予防課に配置（3ヵ年計画） [タグ密閉式・セタ密閉式・クリーブランド密閉式]
	違反対象物公表制度開始	4月	重大な消防法令違反がある建物情報をホームページなどで公表する違反対象物公表制度を開始した
	西宮市消防職員人事評価制度開始	4月	西宮市消防職員人事評価制度を開始した
	火災調査体制の強化	4月	任命調査員制度を導入した
	緊急消防援助隊出動	4月	平成28年（2016年）熊本地震への緊急消防援助隊として、4月16日から4月22日までの7日間にわたり、11隊39名を熊本県阿蘇郡南阿蘇村等に派遣した
	定数改正	12月	消防職員の定数を「522人」に改めた



## 所 属 別 情 勢

(平成29年4月1日現在)

所属別	管内情勢		保有車両	消防吏員	消防吏員1人 に対する割合
全 市	面積	100.18 km <sup>2</sup>	76 台  〔局18台 を含む〕	418 人  〔局74名 を含む〕	/
	人口	485,025 人			1,160 人
	世帯数	219,305 世帯			525 世帯
	防火対象物数	11,855 対象			/
	消防水利数	6,042 個			/
西宮 消防署	面積	23.68 km <sup>2</sup>	15 台	102 人	/
	人口	163,782 人			1,606 人
	世帯数	76,732 世帯			752 世帯
	防火対象物数	4,467 対象			/
	消防水利数	2,054 個			/
鳴尾 消防署	面積	14.10 km <sup>2</sup>	15 台	86 人	/
	人口	138,237 人			1,607 人
	世帯数	63,771 世帯			742 世帯
	防火対象物数	3,125 対象			/
	消防水利数	1,641 個			/
瓦木 消防署	面積	13.97 km <sup>2</sup>	14 台	76 人	/
	人口	138,656 人			1,824 人
	世帯数	60,094 世帯			791 世帯
	防火対象物数	3,339 対象			/
	消防水利数	1,507 個			/
北 消防署	面積	48.43 km <sup>2</sup>	14 台	80 人	/
	人口	44,350 人			554 人
	世帯数	18,708 世帯			234 世帯
	防火対象物数	924 対象			/
	消防水利数	840 個			/

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数。

※ 消防吏員は、再任用、県教官・初任教育・救急救命士派遣、市出向者を含まない。

## 平成28年度重点目標

平成28年度は第4次西宮市総合計画の8年目となるため、次期総合計画も見据えながら、南海トラフ巨大地震などの大規模災害や高齢化の進展などに伴い増加する消防需要に対応すべく、本市に見合った消防力の整備に取り組んでいく。

施設整備では、老朽化・狭隘化した瓦木消防署甲東分署及び西宮消防署の建替えを推進するとともに、総合的な訓練が実施できる消防訓練施設の整備を進め、現場活動体制及び訓練環境の充実を図る。

また、消防の任務を遂行するためには、施設整備のみならず、服務規律の確保、部隊行動の徹底、指揮命令系統の確立が必要不可欠であることから、これらの実現に向け、職員の意識、知識、技術の向上を図るため、人材育成に取り組み消防体制の充実強化に努める。

予防対策では、住宅火災による死傷者の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理を促進する。また、予防査察による違反の早期是正と追跡調査の強化を図るとともに、放火火災予防の推進に努める。

救急救助体制では、救急救命士や救助隊員等の養成と技術向上を図り、救急救助業務の高度化を推進するとともに、応急手当普及員の育成など救命処置の普及促進に努める。

市民の生命、身体及び財産を守るという責務のもと、市民に信頼される消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

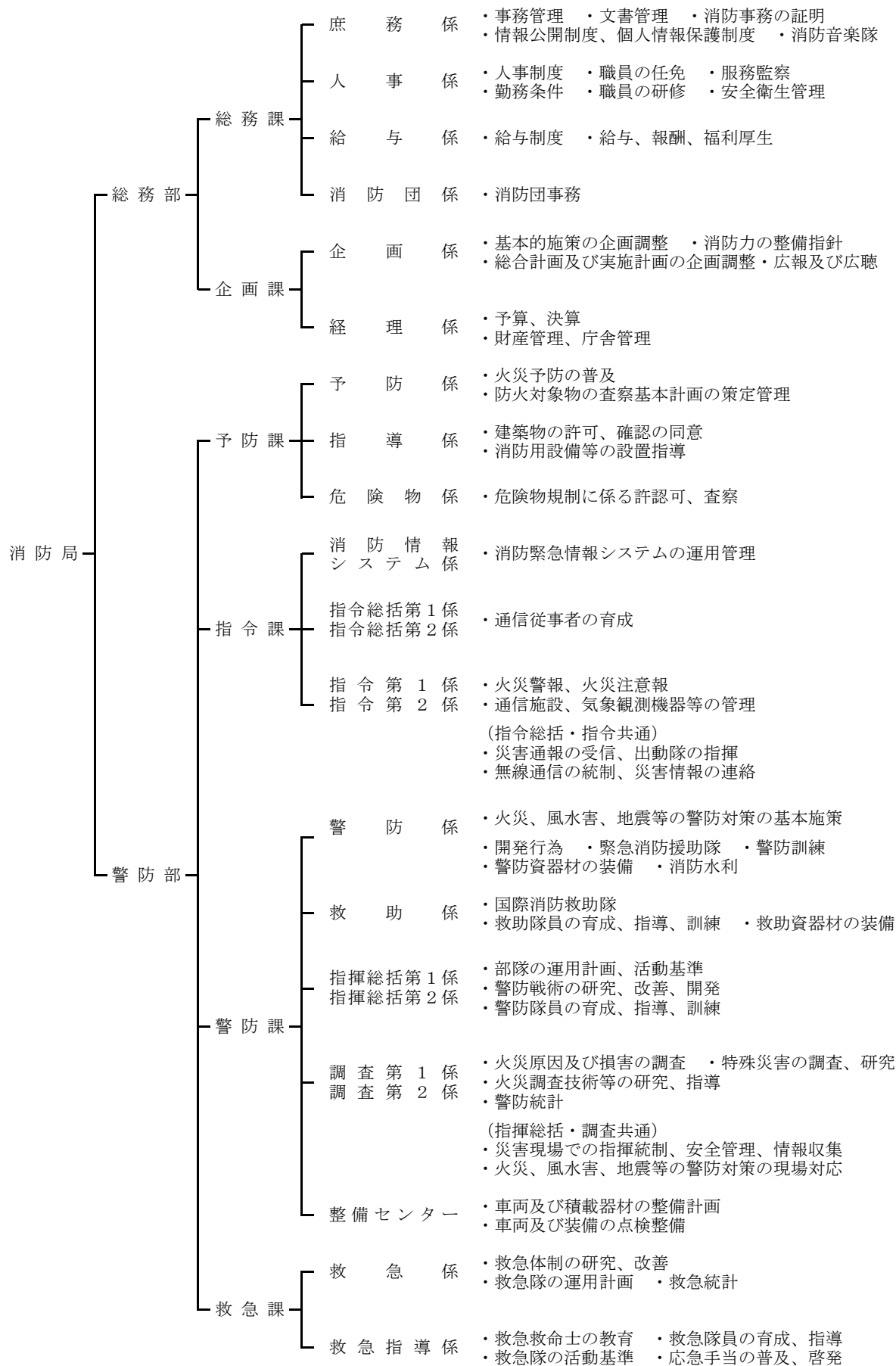
### （ 重 点 目 標 ）

消防体制の充実強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 服務規律の確保</li> <li>2 部隊行動の徹底</li> <li>3 指揮命令系統の確立</li> <li>4 人材育成の推進</li> </ol>
予防対策の充実強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 住宅用火災警報器の設置促進</li> <li>2 予防査察の充実強化</li> <li>3 放火火災予防対策の推進</li> </ol>
救急救助体制の充実強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 救急救助技術及び能力の向上</li> <li>2 救急救助業務高度化の推進</li> <li>3 救命処置の普及促進</li> </ol>

# 消防局の組織及び事務分掌

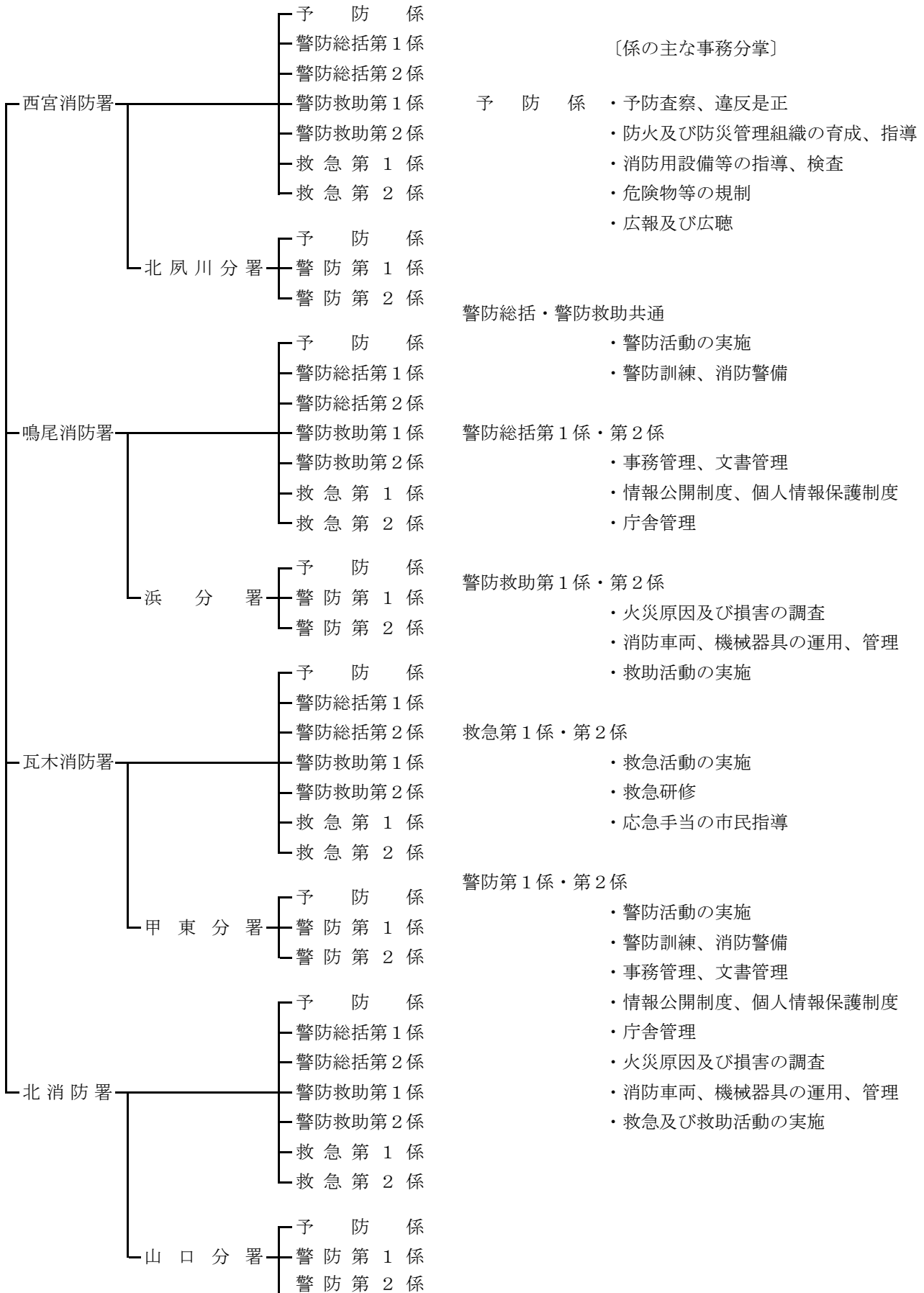
(平成29年4月1日現在)

[係の主な事務分掌]



# 消防署の組織及び事務分掌

(平成29年4月1日現在)



## 職 員 配 置 状 況

(平成29年4月1日現在)

所 属 区分	消 防 局								西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署		
	局 長	総 務 部			警 防 部					本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
		部 長	総 務 課	企 画 課	部 長	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課								
配置人員	1	1	10	7	1	7	22	20	5	64	38	58	28	48	28	52	28
小 計	1	18			55					102		86		76		80	
計	418 (派遣職員23名を除く)																

## 年 度 別 職 員 数 状 況

年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
職員数 (4月1日)現在	418	435	440	441	446	439	443	434	441
採 用	36	39	30	24	30	16	17	14	18
退 職	22	24	23	25	23	13	23	11	

※職員数は職員の出向による増減を含む

## 職 員 年 齢 状 況

(平成29年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	4	42	97	105	60	49	33	24	27

※ 職員平均 35歳4月

## 職 員 勤 続 年 数 状 況

(平成29年4月1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	82	149	50	37	47	30	25	13	8

※ 職員平均 13年5月

## 消防自動車等保有状況

(平成29年4月1日現在)

車種別		合 計	ポ	タ	は	化	救	活	救	司	指	指	査	人	防	連	可 搬 式 動 力 ポ ン プ
所属別			ン プ 車	ン ク 車	し ご 車	学 車	助 工 作 車	動 支 援 車	急 車	令 車	揮 車	揮 車	報 車	報 車	搬 送 車	火 指 導 車	
計		76	8	9	4	2	4	16	13	1	2	3	8	2	1	3	20
消防局	消防局	10						4		1	1			1	1	2	2
	整備センター	8	(1)	(1)		(1)		1	(3)							1	1
西宮	本署	10	1	1	1		1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				2
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	6		1				2	1				1	1			1
瓦木	本署	9	1	1	1	1	1	1	1			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				2
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

( ) は非常用車両

## 消防情勢の推移

(平成29年4月1日現在)

区 分 年	人 口	世 帯 数	面 積 (km <sup>2</sup> )	消(防 条 例 職 員 定 数 数)	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成15年	443,636	185,880	100.18	359	69	100	204,659	16,367	257
平成16年	448,967	189,322	100.18	359	69	85	50,034	17,079	335
平成17年	453,122	192,103	100.18	359	69	153	431,465	18,261	324
平成18年	463,844	198,996	100.18	359	69	128	92,128	18,461	216
平成19年	468,831	202,500	100.18	426	70	158	79,116	18,964	217
平成20年	472,679	205,565	100.18	426	70	116	62,755	17,853	233
平成21年	474,779	207,768	100.18	426	70	135	117,695	18,065	213
平成22年	477,270	209,876	100.18	426	71	157	99,921	19,713	301
平成23年	478,538	211,317	100.18	426	72	144	150,134	20,689	282
平成24年	479,014	212,781	100.18	426	74	113	77,330	21,037	328
平成25年	480,672	213,228	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年	482,301	214,887	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326
平成27年	483,132	216,003	100.18	426	75	110	57,718	22,373	416
平成28年	484,560	217,815	100.18	426	75	86	262,394	22,850	436
平成29年	485,025	219,305	100.18	522	76	—	—	—	—

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 災害件数は暦年で計上

## 自主防災組織・家庭防火クラブ等結成状況

(平成29年4月1日現在)

署別	区分	自主防災組織	家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ	
		組織数 (防災会)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)
西宮消防署	小計	52	8	149	3	147		
	本署	27	5	83	2	100		
	北夙川	25	3	66	1	47		
鳴尾消防署	小計	30	2	23	4	335	1	39
	本署	14	2	23	4	335	1	39
	浜	16						
瓦木消防署	小計	69	2	36	3	204		
	本署	29	1	19	2	180		
	甲東	40	1	17	1	24		
北消防署	小計	46	3	96	4	244		
	本署	33	2	77	2	112		
	山口	13	1	19	2	132		
合計		197	15	304	14	930	1	39

## 消防協力隊結成状況

(平成29年4月1日現在)

No.	事業所名	隊員数(名)
1	森永乳業株式会社 近畿工場	18
2	伊藤ハム株式会社 西宮工場	10
3	新明和工業株式会社	10
4	JFEアドバンテック株式会社	10
5	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	100
6	日本盛株式会社	10
7	株式会社指月電機製作所	34
8	住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社	10
9	極東開発工業株式会社	39
10	大関株式会社	80
11	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	61
12	辰馬本家酒造株式会社	6
13	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	151
14	日立物流コラボネクスト株式会社 近畿商品センター	10
15	医療法人 明和病院	10
16	鳴尾浜連絡会	300
17	株式会社甲子園オートセンター	10
18	阪急バス株式会社 山口営業所	10
19	読売ゴルフ株式会社	16
20	西宮浜産業団地協議会	741
21	一般社団法人 西宮市医師会	10
22	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
23	学校法人 関西学院	100
24	阪神流通センター協同組合連合会	97
25	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
26	株式会社 戸崎組	10
合計	26団体 (事業所)	1,868



## 消 防 水 利 の 状 況

(平成29年4月1日現在)

種 別			区 分	平 成 27年度末	平成28年度			所 属 別			
					増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	150mm未満		1,922	6		1,928	737	431	455	305
		150mm以上		1,895	4		1,899	660	488	510	241
	私 設			173			173	13	83	71	6
	工 水			95			95	26	69		
小 計				4,085	10	0	4,095	1,436	1,071	1,036	552
防 火 水 槽	公 設	40m <sup>3</sup> 未満		58			58	17	11	12	18
		40m <sup>3</sup> 以上		384	1		385	97	79	77	132
		60m <sup>3</sup> 以上		5	1		6	2	1	2	1
		100m <sup>3</sup> 以上		46			46	16	13	8	9
	私 設	40m <sup>3</sup> 未満		29			29	12	4	7	6
		40m <sup>3</sup> 以上		847	4		851	279	269	234	69
		60m <sup>3</sup> 以上		65			65	23	24	14	4
		100m <sup>3</sup> 以上		74			74	15	39	15	5
小 計				1,508	6	0	1,514	461	440	369	244
消 防 用 水	40m <sup>3</sup> 未満			1			1		1		
	40m <sup>3</sup> 以上			17			17	2	9		6
	60m <sup>3</sup> 以上			19			19	6	11	1	1
	100m <sup>3</sup> 以上			28			28	3	9	14	2
井 戸	公 設			21		3	18	8	10		
	私 設			11			11	3	8		
貯 水 槽	公 設										
	私 設			118			118	60	23	27	8
そ の 他 の 水 利	受 水 槽			25			25	13	5	4	3
	河 川			83	1		84	31	12	30	11
	海 水			8			8		8		
	池			18	1		19	7	5	2	5
	プ ー ル			84			84	24	28	24	8
	マンホール			1			1		1		
	溝 水			0			0				
合 計				6,027	18	3	6,042	2,054	1,641	1,507	840

### 開 発 行 為 に 伴 う 消 防 水 利 事 務 処 理 状 況

開発件数		43	水利あり		水利なし		開発事前協議		147	
			18	25						
消 防 水 利										
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利			
		100 m <sup>3</sup> 以 上	60 m <sup>3</sup> 以 上	40 m <sup>3</sup> 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	ブ 採   水 ル 口	池	そ の 他
小計	13		2	11						1
合計	27									

# 消防相互応援協定締結状況(その1)

(平成29年4月1日現在)

名称	7市1町消防相互応援に関する覚書		兵庫県道高速北神戸線上の消防応援に関する覚書	兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線（3号神戸線）上並びに兵庫県道高速湾岸線（5号湾岸線）上の消防相互応援に関する覚書	名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書（同覚書）	
締結都市等	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	宝塚市	尼崎市	芦屋市	尼崎市・豊中市	
締結年月日	平成13年3月1日	平成15年4月21日	平成6年3月15日	平成6年3月25日	昭和39年8月31日（協定） 昭和39年9月5日（覚書）	
応援災害種別	火災、救急、水災、その他災害	火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急救助	
応援区域	各市町全域	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかる区域	阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかる区域	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかる区域	西宮インターチェンジ、豊中インターチェンジ間の名神高速道路上	
応援方法	通常	<p>1. 区域 市町境界及びその周辺</p> <p>2. 内容 自動的に必要消防隊が応援</p>	<p>1. 区域 7号北神戸線上下線のうち西宮山口ジャンクションの中国自動車道下り線との分岐点から西宮山口東料金所までの区域（宝塚市応援）</p> <p>2. 内容 自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援</p>	<p>1. 区域 (1) 3号神戸線上下線のうち西宮市と尼崎市の境界から尼崎西ランプウェイまでの間 5号湾岸線上下線のうち西宮市と尼崎市の境界から尼崎末広ランプウェイまでの間（西宮市応援） (2) 3号神戸線下り線のうち尼崎市と西宮市の境界から西宮ランプウェイまでの間 5号湾岸線下り線のうち西宮市と西宮市の境界から甲子園浜ランプウェイまでの間（尼崎市応援）</p> <p>2. 内容 自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援</p>	<p>1. 区域 (1) 3号神戸線下り線のうち芦屋市域に係る区域 5号湾岸線下り線のうち西宮市と芦屋市の境界から南芦屋浜ランプウェイまでの区域（西宮市応援） (2) 3号神戸線上下線のうち芦屋市と西宮市の境界から武庫川ランプウェイまでの区域（芦屋市応援）</p> <p>2. 内容 自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援</p>	<p>1. 区域 (1) 区域内の火災・救急事故を感知したとき (2) 火災等発生地の消防長から応援要請があったとき</p> <p>2. 内容 必要消防隊が応援</p>
	特別	<p>1. 区域 全域</p> <p>2. 内容 災害発生地消防長の要請により必要消防隊が応援</p>	<p>1. 区域 上記道路のうち西宮市域</p> <p>2. 内容 西宮市消防長の要請により必要消防隊が応援</p>	<p>1. 区域 上記道路のうち尼崎市域と西宮市域</p> <p>2. 内容 火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援</p>	<p>1. 区域 上記道路のうち芦屋市域と西宮市域</p> <p>2. 内容 火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援</p>	
経費負担	<p>応援市町負担</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>公務上の災害補償費</li> <li>応援職員の旅費及び出動手当</li> <li>車両及び機械器具の燃料費及び修理費</li> <li>被服の損料等</li> <li>交通事故等における損害賠償費等</li> </ol> <p>被応援市負担</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>車両及び機械器具の燃料費（現地で調達したもの。）</li> <li>宿泊費及び食料費</li> <li>化学消火剤等資機材費</li> <li>現場活動中に第三者に与えた損害賠償費等</li> <li>賞じゅつ金等</li> </ol> <p>上記以外は応援市町、被応援市町双方が協議して定める</p>				<p>応援に要する経費は、応援市町負担</p>	

# 消防相互応援協定締結状況(その2)

(平成29年4月1日現在)

神戸市・西宮市消防相互応援協定 (同覚書)	中国道のうち兵庫県区域における 消防相互応援協定 (同覚書)	大阪国際空港周辺都市航空機災害 消防相互応援協定 (同覚書)	兵庫県広域消防相互応援協定 (同覚書)	山陽自動車道消防相互応援協定 (同覚書)
神 戸 市	川西市、伊丹市、宝塚市、三田 市、神戸市、三木市、北はりま、 姫路市、西はりま	大阪市、堺市、豊中市、東大阪 市、池田市、吹田市、八尾市、松 原市、柏原羽曳野藤井寺消防組 合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝 塚市、川西市	阪神地域、神戸地域、東播地域、 西播地域、但馬地域の各市町長等	三田市、神戸市、三木市、小野 市、加古川市、姫路市、西はり ま、赤穂市、東備消防組合
平成19年1月18日 (協定)	平成29年2月6日 (協定)	平成26年1月31日 (協定)	平成29年1月13日 (協定)	平成29年2月6日 (協定)
平成19年1月18日 (覚書)	平成29年2月6日 (覚書)	平成26年1月31日 (覚書)	平成29年1月13日 (覚書)	平成29年2月6日 (覚書)
火災・救急救助等	火災・救急	火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急救助
西宮市、神戸市域	中国道のうち兵庫県区域	各市全域	兵庫県下	神戸ジャンクションから備前イ ンターチェンジまでの区間 (三木 ジャンクションから神戸西イン ターチェンジまでの区間及び播磨 自動車道を含む)
1. 区 域 (1) 北区道場のうちJR福知山 線以南に係る区域、北区八多 町のうち県道野瀬有馬線以 北及び上小名田以東に係る区 域、北区菖蒲が丘、西山、京地、 藤原台北町、藤原台中町、藤 原台南町、有野町のうち県道 市野瀬有馬以北に係る区域、 有野台、東有野台、有馬町、 3号神戸線下り線のうち深江 ランプウェイ以東、7号北神 戸線上り線のうち有馬ランプ ウェイ以東の神戸市域に係 る区域 (西宮市応援) (2) 山口町、北六甲台、すみれ 台、5号湾岸線下り線のうち 西宮浜ランプウェイ以西、7 号北神戸線下り線のうち西 宮山口南ランプ以西の西宮 市域に係る区域	1. 区 域 上り線のうち西宮市と宝塚市 の境界から宝塚インターチェン ジまでの間及び下り線のうち西 宮市と神戸市の境界から神戸 三田インターチェンジまでの間 2. 内 容 火災又は救急事故等を覚知し た場合消防隊又は救急隊が応援 出動	1. 地域内応援 第2条に規定する地域内の市 町等に対する応援 2. 県内応援 前号に規定する地域以外の市 町等に対する応援	1. 区 域 下り線のうち神戸ジャンクシ ョンの中国自動車道下り線との 分岐点から神戸北インターチェ ンジまでの区間 2. 内 容 自動的に消防隊又は救急隊が 応援	
1. 区 域 全域 2. 内 容 火災等発生地消防長の要請に より必要消防隊が応援	1. 区 域 全域 2. 内 容 大火災又は集団災害が発生し た場合火災等発生地消防長又は 被災市町等の要請により必要 消防隊が応援	1. 区 域 全域 2. 内 容 災害発生地消防長の要請によ り必要消防隊が応援	1. 区 域 全域 2. 内 容 火災等発生地消防長の要請又 は地域の代表消防本部を通じ必 要消防隊が応援	1. 区 域 全域 2. 内 容 災害発生地消防長の要請によ り必要消防隊等が応援
応援市負担 1. 公務災害に要する経費 2. 旅費及び出動手当 3. 被災市等との間の移動中に 第三者に与えた損害の賠償 に要する経費等 4. 被服の損料など 5. 上記以外の人件費その他の 経費 被災市負担 1. 応援活動中に調達した車両 及び機械器具の燃料費 2. 宿泊費及び食料費 3. 車両及び資器材の修理費 4. 特別に必要な車両 及び機械器具の修理費 5. 賞金、賞状、賞金 6. 応援活動中に第三者に与え た損害の賠償に要する経費 等 7. 化学消火薬剤等の資機材費 上記以外の応援市、被災市双 方が、協議して定める	応援市町等負担 1. 消防職員の公務災害補償 2. 車両及び機械器具等の燃料 費等 3. 旅費及び出動手当 4. 車両及び機械器具の修理費 5. 被服の損料等 6. 交通事故における損害賠償 費等 被災市町等負担 1. 化学消火薬剤費等 2. 現場活動中において第三者 に与えた損失補償 3. 交通事故による損害賠償等 上記以外は応援市町、被災 市町双方が協議して定める	被災市負担 1. 消防機械器具の小破損の修 理費 2. 車両、資器材等の燃料費 3. 職員の出動手当及び被服等 についての諸経費 4. 応援隊員の公務災害補償費 被災市負担 1. 前号に定める小破損の程度 を超える消防機械器具の修 理費 2. 車両資器材等の燃料費及び 化学消火に要した薬剤費 3. 被災市の指揮下における 活動中に発生した事故の諸 経費 (1) 建築物、工作物又は土 地に対する補償費等 (2) 応援隊員の賞金、賞状、 特別救慰金及び弔慰金等 (3) 一般人の死傷に対する補 償費等	被災市負担 1. 公務災害補償に要する経費 2. 旅費及び出動手当 3. 被災市等との間の移動中 に第三者に与えた損害の賠償 に要する経費等 4. 被服の損料等 5. 上記以外の人件費その他の 経費 被災市負担 1. 応援活動中に調達した車両 及び機械器具の燃料費 2. 宿泊費及び食料費 3. 当該応援のために特別に必 要になった車両及び機械器 具の修理費 4. 賞金、賞状、賞金 5. 応援活動中に第三者に与え た損害の賠償に要する経費 等 6. その他応援活動中に調達し た化学消火薬剤等の資機材 費	被災市等負担 1. 公務上の災害補償 2. 旅費及び出動手当 3. 車両及び機械器具等の燃料 費及び修理費 4. 現場活動中第三者に生じた 損失補償 (通常応援時) 5. 応援途上の交通事故による 損害賠償 被災市等負担 1. 化学消火薬剤 2. 現場活動中第三者に生じた 損失補償 上記以外は、応援市等と被災 市等が協議して定める

## 消防庁舎の概要

(平成29年4月1日現在)

庁舎名	所在地	建築年月	構造	敷地面積	延面積
消防局	西宮市池田町13番3号	平成8.3	鉄筋コンクリート造 6階建	2,513.71㎡	2,373.78㎡ (応急診療所除く)
消防局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目5番地	昭和62.3	鉄骨造 折版葺 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西宮消防署	西宮市津門大塚町1番38号	昭和41.1	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階建	1,414.24㎡	1,814.84㎡
西宮消防署 北夙川分署	西宮市松風町4番4号	昭和59.3	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴尾消防署	西宮市古川町2番12号	昭和55.3	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		平成23.2	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴尾消防署 浜分署	西宮市西宮浜3丁目5番地	平成11.10	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦木消防署	西宮市高木東町15番11号	昭和63.9	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	2,152.73㎡ のうち 1,280.96㎡
瓦木消防署 甲東分署	西宮市上甲東園2丁目11番66号	昭和44.3	鉄筋コンクリート造 2階建	330.77㎡	380.58㎡
北消防署	西宮市名塩新町7番地1	平成3.3	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北消防署 山口分署	西宮市山口町下山口4丁目1番20号	昭和60.3	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡	477.82㎡
消防待機宿舎	西宮市津門大塚町1番38号	昭和43.3	鉄筋コンクリート造 5階建	548.11㎡	1,094.54㎡ のうち5階部分 198.59㎡

# 庁舎配置及び管轄区域





総

務



消防出初式





# 総務の概要

## 1 予算執行

消防局車両等整備事業として、耐用年数が経過したはしご付消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車及び活動支援車を更新したほか、資機材では、熱画像直視装置を更新し、消防力の充実強化を図った。

また、通信施設等整備事業として署活動用無線機を更新したことで通信施設を強化した。

さらに、消防庁舎等整備事業として、瓦木消防署甲東分署建替えに伴う新庁舎建設工事及び消防訓練施設整備に伴う設計業務に着手したほか、老朽化した消防局及び西宮消防署北夙川分署の改修工事を実施した。

消防団車庫整備事業として、段上分団車庫建替工事を実施したほか、消防団車両等整備事業において、耐用年数が経過した消防ポンプ自動車を更新し、消防団の体制強化を図った。

その他、救急業務高度化推進事業として、救急救命士、拡大二行為認定救急救命士及び気管挿管認定救急救命士並びにビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管認定救急救命士等を養成し、救急体制の充実に努めた。

## 2 研修

複雑多様化する災害に即応するなど、安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していくためには、各種業務の最新の専門知識や高度な技術の習得が不可欠であることから、消防大学校、兵庫県消防学校及び消防局各課が計画する各種専門研修等へ積極的に消防職員を派遣するとともに、消防業務に必要な資格取得の講習会等にも派遣し、潜水士等の資格を取得させた。加えて、市研修厚生課主管の基本研修等へも多数の消防職員を派遣するとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針を基に策定した平成28年度西宮市消防職員訓練、研修計画に沿って、教養研修等の職場研修も積極的に行い、職員個々の能力開発に努めた。

## 3 文書管理

文書事務の管理については、消防文書取扱規程及び文書分類表に基づき、文書事務及び公印管理の適正化に努めるとともに、文書管理システムを活用し文書事務の能率化・迅速化を図り、文書管理体制の充実を図った。

## 4 消防音楽隊

昭和63年度に隊長以下19名で発足した消防音楽隊は、平成29年4月1日現在、隊長以下25名が消防広報のため、市民に対して年間26回の演奏活動を実施した。

## 消 防 予 算

(当初予算 単位：千円)

区 分	年 度	平成29年度	平成28年度	増 減
	消防費	6,320,530	5,401,281	919,249
消 防 費		4,936,539	4,712,309	224,230
職 員 の 給 与 費		4,283,600	4,134,540	149,060
消 防 庁 舎 維 持 管 理 事 業 経 費		111,767	120,495	△ 8,728
消 防 音 楽 隊 運 営 事 業 経 費		1,483	1,407	76
消 防 職 員 研 修 事 務 経 費		25,248	24,181	1,067
消 防 局 車 両 運 用 事 務 経 費		66,328	37,970	28,358
予 防 活 動 推 進 事 業 経 費		4,435	2,923	1,512
通 信 指 令 業 務 経 費		242,232	215,914	26,318
消 防 水 利 維 持 管 理 事 業 経 費		69,326	51,295	18,031
救 助 活 動 業 務 経 費		8,124	8,028	96
消 防 活 動 業 務 経 費		27,084	19,597	7,487
救 急 活 動 業 務 経 費		30,565	33,215	△ 2,650
一 般 事 務 経 費		66,347	62,744	3,603
消 防 団 費		140,180	150,158	△ 9,978
消 防 団 設 備 維 持 管 理 事 業 経 費		7,012	8,654	△ 1,642
消 防 団 運 営 事 業 経 費		133,168	141,504	△ 8,336
消 防 施 設 整 備 費		1,211,150	506,211	704,939
消 防 局 車 両 等 整 備 事 業 費		210,777	250,778	△ 40,001
消 防 団 車 両 等 整 備 事 業 費		52,208	68,256	△ 16,048
通 信 施 設 等 整 備 事 業 費		0	2,677	△ 2,677
消 防 団 車 庫 整 備 事 業 費		74,658	47,614	27,044
消 防 庁 舎 等 整 備 事 業 費		873,507	136,886	736,621
水 防 費		32,661	32,603	58
水 防 対 策 事 業 経 費		12,661	12,603	58
水 防 作 業 従 事 手 当 経 費		20,000	20,000	0

## 一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算 の 推 移

区 分 年度別		市一般会計	消防費	比 率
		(千 円)	(千 円)	(%)
平成20年度	当 初 予 算	154,089,287	5,197,132	3.37
	決 算	152,271,137	5,113,610	3.36
平成21年度	当 初 予 算	158,354,977	5,293,139	3.34
	決 算	163,832,939	5,222,045	3.19
平成22年度	当 初 予 算	161,079,538	5,703,834	3.54
	決 算	156,335,216	5,663,785	3.62
平成23年度	当 初 予 算	174,070,674	5,573,122	3.20
	決 算	168,705,404	5,558,958	3.30
平成24年度	当 初 予 算	159,721,161	5,306,979	3.32
	決 算	157,631,649	5,304,986	3.37
平成25年度	当 初 予 算	160,941,007	5,741,263	3.57
	決 算	161,004,830	5,596,433	3.48
平成26年度	当 初 予 算	167,840,289	6,320,155	3.77
	決 算	167,558,215	5,655,973	3.38
平成27年度	当 初 予 算	174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算	170,715,254	5,014,876	2.94
平成28年度	当 初 予 算	174,685,506	5,401,281	3.09
	決 算	(未決算)	(未決算)	(未決算)
平成29年度	当 初 予 算	176,623,116	6,320,530	3.58
	決 算	—	—	—

## 消 防 予 算 市 民 負 担 の 推 移

(各年度4月1日現在)

区 分 年度別	消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
				市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成20年度	5,197,132	472,679	205,565	10,995	25,282
平成21年度	5,293,139	474,779	207,768	11,149	25,476
平成22年度	5,703,834	477,270	209,876	11,951	27,177
平成23年度	5,573,122	478,538	211,317	11,646	26,373
平成24年度	5,306,979	479,014	212,781	11,079	24,941
平成25年度	5,741,263	480,672	213,228	11,944	26,925
平成26年度	6,320,155	482,301	214,887	13,104	29,412
平成27年度	5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514
平成28年度	5,401,281	484,560	217,815	11,147	24,798
平成29年度	6,320,530	485,025	219,305	13,031	28,821

# 職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(平成28年度中)

階 級 研 修 名		合 計	(消 防 正 監 監)	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
消 防 大 学 校	総 合 教 育	上 級 幹 部 科	1	1					
	専 科 教 育	火 災 調 査 科	1			1			
	緊 急 消 防 援 助 隊 教 育 科	指 揮 隊 長 コ ー ス	1		1				
	消 防 大 学 校	フ ォ ー ラ ム	2			2			
県 消 防 学 校	初 任 教 育		14					14	
	専 科 教 育	救 助 科	2					2	
		救 急 科	13						13
		特 殊 災 害 科	4				4		
		警 防 科	8					8	
		危 険 物 科	4					4	
		火 災 調 査 科	2				2		
	幹 部 教 育	中 級 幹 部 科	4			4			
		上 級 幹 部 科	1			1			
	特 別 教 育	潜 水 科	2					2	
	そ の 他	惨 事 ス ト レ ス 研 修	4			3		1	
		山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	2						2
		通 信 担 当 者 研 修	2				1	1	
	救 急 救 命 士 養 成 課 程	4					2	2	
救 急 救 命 士 追 加 講 習	20			1	15	4			
神 戸 市 消 防 学 校	特 殊 災 害 課 程	1				1			
全 消 長 会	消 防 長 研 修 会	1	1						
	企 業 防 災 対 策 指 導 研 修 会	4			2		2		
	消 防 財 政 実 務 研 修	1					1		
全 消 協 会	消 防 実 務 講 習 会	1				1			
消 防 職 員 安 全 衛 生 研 修 会		2		2					
消 防 職 員 の た め の 惨 事 ス ト レ ス の 理 解 と 予 防 (ス テ ッ プ ア ッ プ 版) 研 修		2			2				
第 1 種 衛 生 管 理 者 講 習 会		4		1	3				
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習		4					2	2	
玉 掛 け 技 能 講 習		4					3	1	
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習		4					2	2	
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士 免 許 試 験 受 験 準 備 講 習 会		3					2	1	
大 型 自 動 車 1 種 免 許 取 得 の た め の 教 習 所		5					1	4	
中 型 自 動 車 第 一 種 免 許 8 t 限 定 解 除 の た め の 教 習 所		5					1	4	
中 型 自 動 車 第 一 種 免 許 の た め の 教 習 所		1						1	
3 級 自 動 車 シ ャ シ 整 備 士 免 許 取 得 の た め の 講 習 会		1					1		
潜 水 士		3					1	2	
違 反 是 正 阪 神 ブ ロ ッ ク 部 会		2					2		
危 険 物 事 故 防 止 セ ミ ナ ー		1				1			
危 険 物 保 安 技 術 講 習 会		1			1				
危 険 物 施 設 安 全 推 進 講 演 会		1			1				
「 建 築 物 の 防 火 避 難 規 定 の 解 説 2016 」 フ ォ ロ ー ア ッ プ セ ミ ナ ー		1			1				
違 反 是 正 事 例 研 究 会		3				3			
調 査 技 術 会 議		1		1					
違 反 是 正 事 例 発 表 会		5				1	4		
日 本 火 災 学 会 研 究 発 表 会		1			1				
地 下 タ ン ク 等 定 期 点 検 技 術 者 講 習 ・ 初 回 講 習		1			1				
危 険 物 事 故 事 例 セ ミ ナ ー		1				1			
平 成 28 年 度 安 全 講 演 会		2			1	1			
建 築 物 の 防 火 避 難 規 定 の 解 説 2016		1				1			

大阪湾・播磨灘排出油等防除協議会神戸地域部会による海上防災に関する講演会	1			1				
平成28年度予防技術講習会	6			2	4			
消防防災研究講演会	1	1						
危険物等安全管理研修会	1			1				
消火設備の点検に関する研修	4				1	2	1	
防火設備検査員講習	1			1				
特殊消防設備等講演会	13	1	1	3	4	4		
技術セミナー「やさしく学べる建築法規シリーズ/建築物の防火・避難施設編」	1				1			
平成28年度消防用設備等セミナー	6				4		2	
自家発電設備の点検に関する研修	4			1	3			
ハロン消火剤と予防行政に関する研修会2016	7	1	1	4	1			
「入門、近年の建築基準及び関連制度の動向を解説する」セミナー	1				1			
建築防火・防災講演会	1				1			
パッケージ型自動消火設備消火実験	22	1	2	5	6	8		
調達管理セミナー	1				1			
兵庫県フェニックス防災システム研修	1			1				
防災情報通信セミナー 2016 春夏	2			1		1		
情報セキュリティー新任情報化担当者セミナー	1					1		
大阪国際消防防災展	2			1		1		
大阪市消防局指令情報センター実務研修	2			1		1		
レスキュー3シ`ャハ`ン・スィフトウォーターレスキューコース	3				3			
安全運転管理者等講習	10	9	1					
整備主任者研修	4				1	1	2	
消防・救急緊急自動車ドライバー安全運転研修	2					1	1	
火災調査担当者会議	1			1				
名神高速道路防災研修会	3				2	1		
高速自動車道消防協議会研修会	6	1	4	1				
阪神高速道路消防協議会事務担当者会議及び視察研修	5			3	1	1		
国際消防救助隊セミナー	1				1			
航空機連携講習会	2			2				
平成28年度兵庫県下消防長会火災調査研究会	19			1	2	8	8	
平成28年度大阪市火災調査事例発表会	1				1			
平成28年度第10回京都府火災調査業務研究会	1				1			
平成28年度第8回大阪府下消防長会火災調査事例発表会	1					1		
第64回全国消防技術者会議	2				2			
平成28年度兵庫県下原因調査担当者会議	2			2				
兵庫県消防学校専科教育火災調査科燃焼実験	2					2		
兵庫県消防学校専科教育火災調査科公開講座	2					2		
日本臨床救急医学会	1			1				
近畿救急医学研究会 救急隊員部会	20			5	8	5	2	
救急救命九州研修所指導救命士養成研修	1			1				
日本集団災害医学総会・学術集会	1				1			
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会救急隊員研修会	31			1	10	14	4	2
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会特別研修会	112	1	10	22	39	38	2	
西宮市医師会 I C L S コース	6			1		5		
兵庫 J P T E C プロバイダーコース	2					2		
兵庫県救急医療フォーラム	2			2				
救急救命士養成課程公開講座	1			1				
自殺未遂者ケア研修	4				2	1	1	
みやっこケアノート西宮市民と支援者の基礎研修	2	1				1		
兵庫県立尼崎総合医療センター小児救急講演会	2			1	1			
救急特別研修会	2			1	1			
阪神地区消防長会救急隊員研修会	383			20	85	108	152	18
全国救急隊員シンポジウム	24	1	12	10	1			
合計	897	2	22	108	216	256	269	24

## (派遣研修) その2

(平成28年度中)

階 級	合 計	(消 防 正 監 )	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	
									研 修 名
	6			6					
	4		4						
	4			4					
	3		3						
	2						2		
	3				1	1	1		
	1				1				
	10			2	2	5		1	
	2				1	1			
	32					5	27		
	1				1				
	3			1	1	1			
	4			1	1	1	1		
	4		1	3					
	6			4	1		1		
	3			1	2				
	1		1						
	13		13						
研修 厚生課等 研修	2						2		
	3						3		
	5				1	3	1		
	3				3				
	1	1							
	3				1	1	1		
	1					1			
	1					1			
	4			3		1			
	3			1		1	1		
	27			9	6	9	3		
	1						1		
	5			2	3				
	9	3	6						
	1					1			
	2							2	
	1					1			
	3					1	2		
	7			1		6			
	1					1			
	3			3					
	3			1		2			
	1					1			
	7	1	2	3	1				
	合計	199	5	35	43	27	42	46	1

## (職場研修)

(平成28年度中)

研修名	階 級	実 施 回 数	受 講 者	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
総務課	条件付採用時研修	1	14					14	
	新任課長特別研修	1	3	3					
	採用後定時研修(3年目)	2	15					15	
	採用後定時研修(5年目)	2	23				2	21	
	服 務 研 修	2	42			16	9	17	
	平成28年度採用者に対する特別研修	1	14					14	
	再任用予定者研修	1	4		3		1		
	昇任予定者研修	3	27			4	11	12	
	評価者研修	1	32	2	30				
	メンタルヘルス研修	1	32		5	13	11	3	
平成28年度採用者(救急救命士資格取得者)の救急研修	1	1					1		
企画課	財務会計システム取扱研修	1	10		2	4	3	1	
	ホームページCMS研修	1	12			3	6	3	
予防課	阪神地区消防長会予防研修	2	108	3	14	18	27	46	
	火災予防行政執行能力向上研修	2	104	3	13	16	26	46	
	予防事務調査研究会	4	101	3	4	7	21	66	
指令課	通信研修(電話対応研修)	2	40	1	5	8	13	13	
	新規指令課異動者研修	1	6		2	3	1		
	マニュアル指令訓練	4	49	4	9	12	20	4	
	分散受信訓練	2	20	2	4	6	7	1	
	非常招集伝達訓練	4	168	18	50	40	48	6	6
警防課	新規小隊長研修	1	9				9		
	潜水土資格取得者実技研修	5	10					10	
	整備研修	19	19				3	16	
	安全運転講習会	2	140			17	57	66	
	機関員養成研修	4	4					4	
	新規救助隊長研修	1	3			1	2		
	火災調査研修	5	125		6	22	58	39	
	開発指導及び検査研修	2	22			13	9		
	消防実務研修(開発)	2	62		1	4	16	41	
	緊急消防援助隊指揮隊長研修	1	15	15					
救急課	警防活動研修	2	40			8	8	24	
	特殊災害訓練	2	78		7	14	24	33	
	救急救命士就業前研修	1	5				4	1	
	救急救命士定期研修	1	59		8	17	24	10	
	救急救命士資格取得後研修	1	8				4	4	
	救急救命士事前研修	1	4				2	2	
	集合型救急研修	6	80		9	17	28	26	
	地域包括ケアシステムに関する救急隊員研修会	1	14	1	6	5	2		
救急隊員現場実習研修	19	58		11	12	20	15		
新規救急隊長研修	1	5				5			
合 計		116	1585	55	189	280	481	574	6

# 消防吏員階級別資格取得状況

(平成29年4月1日現在)

種 別		階 級	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士		
消 防 吏 員 数			441	21	61	84	106	169		
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	41	9	7	13	5	7		
		乙 種	98	15	16	21	22	24		
	点 検 資 格 者	1 種	1					1		
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	5			1	1	3		
		乙 種	320	21	27	67	93	112		
		丙 種	52	15	20	6	8	3		
	予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察 専 門 員		40	1	9	12	11	7	
		消 防 用 設 備 等 専 門 員		27	1	8	7	7	4	
		危 険 物 専 門 員		33	1	11	12	3	6	
通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		423	21	61	84	106	151		
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	441	204	8	46	59	53	38
			2 種		1			1		
		普 通 (中 型 含 む)	1 種		236	13	15	25	52	131
			2 種		17	1	7	8	1	
	自 動 車 整 備 士	2 級		7		1	4	2		
		3 級		28	1	9	8	8	2	
救 急	救 急 隊 員		423	21	61	84	106	151		
	救 急 救 命 士		104	10	21	23	33	17		
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		45		14	21	10			
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		80		14	22	32	12		
	拡 大 二 行 為 救 急 救 命 士		26		7	15	4			
	ビ デ オ 硬 性 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		36		10	18	8			
	指 導 救 命 士		2		1	1				
救 助	救 助 隊 員		163			47	51	65		
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		112	12	19	32	35	14		
	潜 水 士		193	12	40	50	49	42		
	酸 欠 講 習 修 了 者		64		12	22	20	10		
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		76	12	27	23	13	1		
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		98	4	16	25	35	18		
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		2			1		1		
	小 型 船 舶 操 縦 士		2 級 (旧 4 級) 以上	85	5	26	25	12	17	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		33	17	14	1	1			
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		16	4	9	2	1			
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		7			4	3			



# 公務災害等発生状況

(平成28年度中)

区分	勤務態様別	発生件数	被災者数	階 級 別							傷 病 程 度 別								
				消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	通 院			入 院			死 亡	
												一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月	一 カ 月 〜 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月		一 カ 月 〜 三 カ 月
公務災害	消 火																		
	現 場 活 動																		
	救 急																		
	中 救 助																		
	訓 練 中	2	2						1	1		2							
	一 般 業 務 中																		
そ の 他																			
通 勤 災 害	1	1							1						1				
合 計	3	3						1	2		2				1				

## 消 防 表 彰 等 の 状 況

(平成28年度中)

種 別		個 人	団 体	
職 員	消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	1	
		永 年 勤 続 功 勞 章	3	
		緊急消防援助隊出動に係る表彰		1
	兵 庫 県 知 事 表 彰	功 勞 章	3	
		永 年 勤 続 功 勞 章	6	
	全 国 消 防 長 会 会 長 表 彰	永 年 勤 続 功 勞 者	6	
	全 国 消 防 協 会 会 長 表 彰	全 国 優 良 消 防 職 員	1	
	市 医 師 会 会 長 感 謝 状	救 急 業 務 功 績	1	
	市 長 表 彰	永 年 勤 続 職 員	6	
	局 長 ・ 部 長 ・ 署 長 表 彰	勤 務 成 績 優 秀	20	
優 秀 機 関 員		26		
消 防 業 績 表 彰			2	
市 民	消 防 局 長 表 彰	人 命 救 助	3	1
		消 防 業 務 協 力 ( 消 防 記 念 日 )	3	7

# 消防音楽隊の状況

(平成29年4月1日現在)

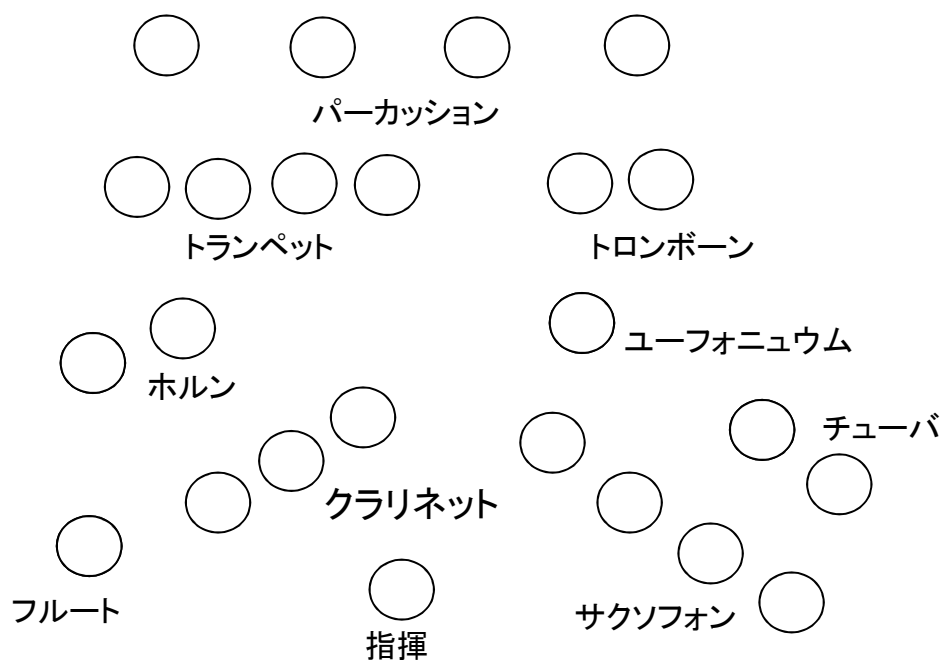
## 1 階級別音楽隊員状況

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
人員	1	7	8	7	2	25

## 2 楽器保有状況

楽器名	数量	楽器名	数量
ピッコロ	1	スーザフォン	2
フルート	3	クォード	1
クラリネット	6	バスドラム	1
アルトサクソフォン	2	コンサートバスドラム	1
テナーサクソフォン	2	マーチングスネアドラム	1
バリトンサクソフォン	1	マーチングバスドラム	1
トランペット	4	シンバル	3
フレンチホルン	2	ドラムセット	1
テナートロンボーン	3	グロッケン	1
バストロンボーン	1	キーボード	1
ユーフォニウム	1	シンセサイザー	1
チューバ	3	コンガ	2
チャイム	1	シロホン	1
ハーモニーディレクター	1	ティンパニ	5
ドラ	1		

## 3 消防音楽隊配置



## 4 出演状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	0	2	1	0	1	4	4	2	0	3	8	1	26



# 広報及び広聴



火の用心コンサート



## 広報及び広聴の概要

### 1 広報

安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の実態を市民に正しく伝えるとともに、理解と協力を得るため、市政ニュース、さくらFM放送、新聞その他広報媒体を活用し、消防広報の推進に努めるとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページを用いて、より多くの市民に新鮮で豊富な情報を発信した。併せて、フェイスブック・ツイッター等のSNSでも消防広報を実施した。

また、消防広報の効果をより高めるため、各種行事開催時に消防音楽隊の出演を通して広報活動を行った。

### 2 広聴

広聴については、市民からの要望・意見等を迅速かつ的確に処理し、消防への信頼確保に努めた。

広聴件数は、前年より23件増加し91件処理した。内訳は、総務6件、企画3件、予防23件、警防57件、救急2件となっている。

## 広報活動状況

(平成28年度中)

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	547	0	1,875	618時間30分
消 防 教 室	350	42,009	1,006	351時間05分
幼年消防クラブ活動	48	6,462	244	61時間35分
少年消防クラブ活動	6	238	30	9時間45分
家庭防火クラブ活動	35	700	34	55時間15分
自主防災組織	261	9,861	1,123	377時間35分
合 計	1,247	59,270	4,312	1473時間45分

## 資料配布及び刊行物発行

(平成28年度中)

項 目	部 数	対 象
ポ ス タ ー	3,072	防 火 対 象 物
防 災 小 冊 子	725	一 般 市 民 ・ 家 庭 防 火 ク ラ ブ ・ 自 主 防 災 組 織

## 広 聴 事 務 処 理 状 況

(平成28年度中)

区 分		年 間 (件)
事 務 分 掌 分 類	総 務	6
	企 画	3
	予 防	23
	指 令	
	警 防	57
	救 急	2
合 計		91

## 消 防 情 報 の 提 供 (報 道 機 関 等)

(平成28年度中)

情報提供先 区分	合 計	予 防	警 防	救 急	そ の 他
新聞等 (新聞・テレビ・ラジオ)	105	16	42	28	19
市広報紙等 (市政・庁内ニュース)	85	29	13	26	17
ホームページ	173	39	61	24	49
合 計	363	84	116	78	85



# 予 防 行 政



危険物施設配筋検査



# 予 防 行 政 の 概 要

## 1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅用火災警報器の設置による奏功事例を市民に広く周知し、設置を促進することで、住宅火災件数の減少及び死傷者の更なる軽減を図った。

また、高齢者の住宅に対しては、民生委員等の協力を得て住宅防災診断を行い、設置の指導を行った。

中学校における住宅用火災警報器の設置アンケートを引き続き実施し、生徒を通じて住宅用火災警報器の効果や有効性を意識付け、更なる設置を促進した。併せて、不動産管理団体を通じて各不動産所有者に対し、賃貸物件等の住宅用火災警報器の設置を依頼した。

既に設置している住宅に対しては、チラシ等の配布により適切な維持管理を呼び掛けた。

## 2 予防査察の充実強化

消防法令の違反対象物をはじめ、火災の発生時に人命危険が大きい防火対象物、長期にわたり立入検査が行われていない防火対象物に対して優先的に査察を行い、防火管理や消防設備の維持管理を徹底させることで市民の安全確保を図った。

特に、不特定多数の人が利用する特定防火対象物において、重大な違反対象物については、違反対象物に係る公表制度に基づき、市民等に周知させることで、利用者の安全を確保した。

危険物施設については、施設の位置、構造及び設備並びに危険物の貯蔵又は取扱いが法令に定められた基準に適合しているかに着目し査察を行った。

重大な消防法令違反、違反の継続、又は火災が発生した場合に人命危険が大と判断されるものに対しては、早急に違反是正を行うことで、安全確保に努めた。

## 3 放火火災予防の推進

市政ニュース、ホームページ、などの広報媒体、住宅防災診断、消防教室、職員のラジオ出演等あらゆる機会を通じて、チラシ等の広報物の配布を行うなど、市民に対し放火されない環境づくりについて指導を行った。

## 4 多数の観客等が参加する催物に対する防火管理体制の徹底指導

地域における催しをはじめ、十日戎、門戸厄神等の指定催しの関係者等に対して、適宜立入検査を行い、各露店における消火準備や火気管理の徹底をさせるよう指導した。

また、指定催しの防火担当者に対しては、催しの実情にあった火災予防計画を作成させ、保安を確保させることにより、防火管理体制の徹底を図った。

## 5 火災原因調査結果に基づく予防広報の実施強化

市内で発生した火災原因の調査結果について警防課と情報共有し、注意喚起すべきものがあれば、ホームページ、チラシ等を用いて市民に広報し、火災予防意識を高めた。

# 防火対象物現況表

(平成29年4月1日現在)

防火対象物現況表 用途別		合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署		
			本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署	
合計		11,855	3,204	1,263	2,238	887	2,342	997	307	617	
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	1	4		1				
	ロ	公会堂・集会場	9	6		1				2	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	15	11			1	3			
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	8	4			2	1		1	
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	128	49	7	9	11	25	3	2	22
4項	百貨店・市場・マーケット等	231	64	20	41	17	55	12	4	18	
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	28	5	1	6	1		9	3	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,296	1,542	777	1,207	279	1,493	668	164	166
6項	イ	病院・診療所・助産所	125	35	13	35	4	23	7	2	6
	ロ	老人短期入居施設等	117	22	5	16	14	26	6	6	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	141	39	13	25	11	26	8	5	14
	ニ	幼稚園・特別支援学校	83	17	13	11	5	23	9	3	2
7項	小・中・高・大・各種学校	452	45	53	126	32	74	103	12	7	
8項	図書館・美術館等	16	2	2	1	7		3	1		
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	6	5		1					
10項	車両の停車場、船舶の発着場	11	5		3		2		1		
11項	神社・寺院・教会等	148	57	14	13	9	23	16	5	11	
12項	イ	工場・作業場	412	113	9	92	109	33		8	48
13項	イ	自動車車庫・駐車場	266	59	17	69	57	26	7	12	19
14項		倉庫	456	65	4	80	116	23	3	7	158
15項		前各項に該当しない事業所	921	292	51	145	126	138	32	56	81
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,165	428	195	217	33	207	54	12	19
	ロ	イ以外の複合用途対象物	800	337	68	137	55	141	41	4	17
17項		重要文化財等	14	1				12		1	
18項		50 m以上のアーケード	1	1							

## 防火管理者選任及び消防計画届出現況表

(平成29年4月1日現在)

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	3		3	3		3	3	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	10	4	14	10	4	12	8	4
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	8	7	1	8	7	1	8	7	1
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	120	74	46	108	70	38	105	68	37
4項		百貨店・市場・マーケット等	168	128	40	149	122	27	148	121	27
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	19	19		18	18		18	18	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,337	1,337		1,250	1,250		1,221	1,221	
6項	イ	病院・診療所・助産所	55	54	1	52	51	1	51	50	1
	ロ	老人短期入居施設等	96	94	2	92	90	2	91	89	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	96	85	11	95	84	11	95	84	11
	ニ	幼稚園・特別支援学校	49	46	3	48	45	3	48	45	3
7項		小・中・高・大・各種学校	113	110	3	109	107	2	107	105	2
8項		図書館・美術館等	9	7	2	9	7	2	9	7	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	6	4	2	5	4	1	5	4	1
10項		車両の停車場、船舶の発着場	1	1		1	1		1	1	
11項		神社・寺院・教会等	74	58	16	64	51	13	63	50	13
12項	イ	工場・作業場	58	58		58	58		58	58	
13項	イ	自動車車庫・駐車場									
14項		倉庫	31	31		29	29		29	29	
15項		前各項に該当しない事業所	262	230	32	244	219	25	236	211	25
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	843	764	79	727	667	60	702	645	57
	ロ	イ以外の複合用途対象物	185	170	15	167	156	11	164	153	11
17項		重要文化財等									
合計			3,552	3,295	257	3,255	3,054	201	3,179	2,982	197

## 防火対象物査察・検査実施状況

(平成28年度中)

用途別		区分	査察状況		消防用設備検査	
			防火対象物 (棟数)	査察実施対象物 (棟数)	検査届出対象物 (棟数)	検査実施対象物 (棟数)
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	32	2	2
	ロ	公会堂・集会場	9	11	4	2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	10	3	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	8	1		
3項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	118	69	9	9
4項		百貨店・市場・マーケット等	228	200	63	45
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	62	16	17
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,295	2,204	232	177
6項	イ	病院・診療所・助産所	122	100	27	27
	ロ	老人短期入居施設等	107	150	22	27
	ハ	老人デイサービスセンター等	136	103	15	12
	ニ	幼稚園・特別支援学校	83	42	4	3
7項		小・中・高・大・各種学校	452	337	178	42
8項		図書館・美術館等	16	14	2	1
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	6	3		1
10項		車両の停車場、船舶の発着場	11	11	6	5
11項		神社・寺院・教会等	146	84	7	6
12項	イ	工場・作業場	412	224	40	24
13項	イ	自動車車庫・駐車場	257	104	8	9
14項		倉庫	455	316	42	30
15項		前各項に該当しない事業所	903	405	72	46
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,163	675	156	117
	ロ	イ以外の複合用途対象物	798	348	51	39
17項		重要文化財等	14	22	4	
18項		50m以上のアーケード	1			3
合計			11,781	5,527	963	647

### 用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

(平成29年4月1日現在)

用途別		区分														合計 (棟)		
		5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	17~31階	10階以下で31m以上のもの			
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	1														1	2
	ロ	公会堂・集会場	1	1														2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																
	ロ	遊技場・ダンスホール															1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店等																
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等		1														1
3項	イ	待合・料理店等																
	ロ	飲食店	5	1		1	1											8
4項		百貨店・市場・マーケット等	2															2
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1	1	1	2					1						7
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	716	352	250	82	48	62	59	23	20	46	31	3	9	13		1,714
6項	イ	病院・診療所・助産所	8	9	1						1	1					2	22
	ロ	老人短期入居施設等	12	6	1												1	20
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	1														4
	ニ	幼稚園・特別支援学校																
7項		小・中・高・大・各種学校	33	7	2							1					6	49
8項		図書館・美術館等																
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの																
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																
10項		車両の停車場、船舶の発着場																
11項		神社・寺院・教会等	2	2														4
12項	イ	工場・作業場	15	6													4	25
13項	イ	自動車車庫・駐車場	1		1	1											6	9
14項		倉庫	10	3	3												3	19
15項		前各項に該当しない事業所	42	13	4	1	1										7	68
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	151	58	30	12	5	4	2	1	3	3			8	3	280	
	ロ	イ以外の複合用途対象物	102	51	22	10	7	3	4	4		2	1		1	3	210	
17項		重要文化財等																
18項		50m以上のアーケード																
合計(棟)			1,105	512	315	108	64	69	65	29	25	52	32	3	18	50	2,447	

## 防火管理に関する講習の実施状況

(平成28年度中)

講習区分	講習回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	9	424
甲種防火管理再講習	1	33
防火防災管理新規講習	2	110

## 建築物確認申請等処理状況

(平成28年度中)

新築	増築	改築	修繕	模様替	用途変更	その他	合計
346	14				10	77	447

## 12条報告・仮使用承認等処理状況

(平成28年度中)

処理別	所属別						合計
	消防局	西宮消防署	鳴尾消防署	瓦木消防署	北消防署		
12条報告等協議	10					10	
仮使用承認の協議		1	2	1	1	5	



### 危険物製造所等許可施設状況

(平成29年4月1日現在)

合 計		298	100%
製 造 所		4	1.3%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	18.8%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	7	2.3%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	13	4.4%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	80	26.8%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	11	3.7%
	屋 外 貯 蔵 所	4	1.3%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	85	28.6%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.7%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	36	12.1%

### 危険物製造所等類別許可施設状況

(平成29年4月1日現在)

区 分	種 別	合 計	種 別						混 在
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	
合 計		298	1			293	1	2	1
製 造 所		4				4			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	1			53	1		1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	7				5		2	
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	13				13			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	80				80			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	11				11			
	屋 外 貯 蔵 所	4				4			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	85				85			
	第 1 種 販 売 取 扱 所								
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				2			
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	36				36			

### 所管別危険物施設等現況及び査察状況

(平成28年度中)

施設 区分		政 令 危 険 物													少 量 危 険 物	指 定 可 燃 物	
		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所						
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送			一 般
合 計		298	4	56	7	13	80		11	4	85		2		36	504	114
所 管 別 施 設	西 本 署	54		8	3	2	16		3	1	12		2		7	126	23
	宮 北 夙 川 分 署	11		2		2	4				2				1	26	
	鳴 本 署	63	2	11		2	23					13			12	103	36
	尾 浜 分 署	74	2	18	2	4	11		2	2	21				12	87	26
	瓦 本 署	20		7			5				7				1	42	2
	木 甲 東 分 署	14		2	1	3	5				2				1	18	
	北 本 署	22		2	1		3		5	1	8				2	30	
	北 山 口 分 署	40		6			13		1		20					72	27
査 察 状 況	査 察 実 施 数	230	8	32	5	10	62		11	3	65		2		32	126	71
	消 防 局 (予 防 課)	23							11		12						
	西 本 署	39		8	3	2	14			1	1		2		8	14	18
	宮 北 夙 川 分 署	11		2		3	5								1	1	
	鳴 本 署	36	1	6		2	10				9				8	12	3
	尾 浜 分 署	45	7	3		2	6				17				10	16	29
	瓦 本 署	7		4			2								1	20	6
	木 甲 東 分 署	7		2	1	1	1				1				1	9	
	北 本 署	25		3	1		10			2	6				3	13	
	北 山 口 分 署	37		4			14				19					41	15

## 液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

(平成28年度中)

合 計	水 張 検 査				
	小計	10kℓ以下	10kℓを超え 1,000kℓ以下	1,000kℓを超え 2,000kℓ以下	2,000kℓを超えるもの
		1	3		

6	水 圧 検 査				
	小計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超えるもの
	2		2		

## 危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

(平成28年度中)

合 計	仮 貯 蔵	仮 取 扱
47		47

## 少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

(平成29年4月1日現在)

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の 3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	504	114	17	6	51	23	261	16

## 住宅防災診断実施状況

(平成28年度中)

住宅防災診断実施数			合計
			1,159
訪問診断	実施数	留守宅数	訪問数合計
	954	205	1,159
自己診断	火災編	地震編	日常事故編
			計

## 住宅防災診断指導件数

(平成28年度中)

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	350
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	86
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、まめに掃除しましょう。	169
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	51
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	58
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	52
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	68
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	32
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物は置かないようにしましょう。	32
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	20
消火器は必ず設置しておきましょう。	329
消火器の使い方を覚えておきましょう。	236
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	77
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	8
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	67

# 火災統計



火災防ぎょ訓練



# 火災の概要

## 1 概況

平成28年中の火災は、前年より24件減少し86件発生している。これは、過去10年間では、最も少ない発生件数となっている。前年に比べ建物火災が12件、車両火災が5件、その他火災が7件減少している。

前年に比べ焼損棟数は10棟、り災世帯数は8世帯、り災人員は24人減少している。

焼損面積は、大規模な火災が発生したため、2,016㎡増加している。

火災損害額は、前年と比較して2億467万6千円増加し建物1件当りに換算すると271万8千円増加となっている。

なお、火災による死者は、0人（前年比1人減）で負傷者は、15人（前年比2人増）となっている。

## 2 出火状況等

### (1) 出火状況

平成28年中の火災は、4.3日に1件の割合で発生している。（前年3.3日に1件）人口1万人当りの出火件数は、1.8件（前年2.3件）である。

### (2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、50件（58%）で最も多く、その他火災が29件（34%）、車両火災が7件（8%）となっている。

### (3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、2月が11件と最も多く発生し、続いて3月、5月、11月の10件、1月の8件となっている。出火件数の少ない月は、6月の4件となっている。

### (4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、金曜日が17件と最も多く、続いて木曜日が15件、土曜日が14件の順となっている。出火件数の少ない曜日は、月曜日の8件で続いて水曜日の9件となっている。

### (5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、13時台が12件と最も多く、続いて14時台が7件となっている。1時台と4時台は、火災が発生していない。

### (6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署が27件、鳴尾消防署が29件、瓦木消防署が18件、北消防署が12件それぞれ発生している。

## 3 死者

火災による死者は、4年ぶりに0人である。（前年1人）

#### 4 負傷者

火災による負傷者は、15人で前年13人より2人増加している。  
負傷者が生じた内訳は、消火中が7人、避難中が5人、作業中が3人となっている。  
負傷程度は、重症2人、中等症4人、軽症9人となっている。

#### 5 焼損棟数

焼損棟数は、59棟で前年69棟と比べ10棟減少している。  
内訳は、全焼4件（前年5件）、半焼1件（前年2件）、部分焼15件（前年15件）、  
ぼや39件（前年47件）となっている。

#### 6 リ災世帯・リ災人員

リ災世帯は40世帯で、前年48世帯と比べ8世帯減少し、リ災人員は85人で、前年109人  
と比べ24人減少している。  
内訳は、全損4世帯5人、半損1世帯1人、小損35世帯79人となっている。

#### 7 焼損面積

建物焼損面積は、2,557㎡で、前年541㎡と比べ2,016㎡増加している。

#### 8 出火原因

出火原因は、たばこが21件で最も多く、前年15件と比べ6件増加しており、30年間出火原因の第1位であった放火（放火の疑いを含む）を上回っている。続いて、こんろ17件、放火（放火の疑いを含む）11件の順となっている。

#### 9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は、水曜日及び金曜日の3件が最も多く、木曜日が0件と最も少ない。また、時間別では11時台及び13時台が2件で最も多くなっている。  
放火による着火物は、ごみ類が最も多くなっている。

#### 10 損害額

損害総額は、2億6,239万4千円で、前年5,771万8千円と比べ2億467万6千円増加している。また、建物損害額は、損害総額の66%に当たる1億7,376万8千円で、前年4,695万8千円と比べ1億2,681万円増加している。



## 火 災 の 状 況

区 分		単 位	平成28年 A	平成27年 B	対前年増減数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B × 100 (%)
出 火 件 数		件	86	110	-24	-21.8
火 災 種 別	建 物 火 災	件	50	62	-12	-19.4
	林 野 火 災					
	車 両 火 災		7	12	-5	-41.7
	船 舶 火 災					
	航 空 機 火 災					
	そ の 他 火 災		29	36	-7	-19.4
	爆 発					
焼 損 棟 数	合 計	棟	59	69	-10	-14.5
	全 焼		4	5	-1	-20.0
	半 焼		1	2	-1	-50.0
	部 分 焼		15	15	0	0.0
	ぼ や		39	47	-8	-17.0
り 災 世 帯	合 計	世 帯	40	48	-8	-16.7
	全 損		4	4	0	0.0
	半 損		1	5	-4	-80.0
	小 損		35	39	-4	-10.3
り 災 人 員		人	85	109	-24	-22.0
焼 損 面 積	建 物	㎡	2,557	541	2,016	372.6
	1 件 当 り		51.1	8.7	42.4	487.4
	林 野	a	57	10	47	470.0
	1 件 当 り		57	10	47	470.0
損 害 額	総 額	千円	262,394	57,718	204,676	354.6
	火 災 1 件 当 り		3,051	525	2,526	481.1
	市 民 1 人 当 り	円	537	118	419	355.1
	建 物	千 円	173,768	46,958	126,810	270.0
	建 築 物		141,079	32,287	108,792	337.0
	収 容 物		32,689	14,671	18,018	122.8
	建 物 1 件 当 り		3,475	757	2,718	359.0
	林 野					
	車 両		70,735	10,419	60,316	578.9
	船 舶					
	航 空 機					
	そ の 他		17,885	341	17,544	5,144.9
	爆 発		6		6	0.0
死 者			人		1	-1
負 傷 者		15		13	2	15.4
1 日 当 り	火 災 件 数	件	0.2	0.3	-0.1	西宮市推計人口 平成28年1月1日現在 487,947人 平成29年1月1日現在 488,843人
	建 物 火 災		0.1	0.2	-0.1	
	建 物 焼 損 面 積	㎡	7.0	1.5	5.5	
	建 物 損 害 額	千円	717	158	559	
人口1万人当りの 出火件数(出火率)		件	1.8	2.3	-0.5	
総出動台数及び人員		台	342	488	-146	
		人員	1,266	1,824	-558	

### 曜 日 別 火 災 発 生 状 況

区分 曜日	出 火 件 数							焼 損 棟 数				り 災 世 帯 数			り 災 人 員		焼 損 面 積		死 傷 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)			
	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災	爆 発	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損	人				人	建 物 (㎡)	林 野 (a)
日曜日	13	8					5	8			3	5	7	1		6	13		21		3	7,617		
月曜日	8	4		1			3	4				4	2			2	8					35		
火曜日	10	7					3	13	3		5	5	9	2		7	17		314		1	10,792		
水曜日	9	6		1			2	6			3	3	6	1	1	4	9		34	57		4	3,701	
木曜日	15	7		2			6	7			2	5	4			4	8		19				5,001	
金曜日	17	9		3			5	9			2	7	6			6	19					3	1,803	
土曜日	14	9					5	12	1	1		10	6			6	11		2,169			4	233,445	
合 計	86	50		7			29	59	4	1	15	39	40	4	1	35	85		2,557	57		15	262,394	

### 主 要 出 火 原 因 の 推 移

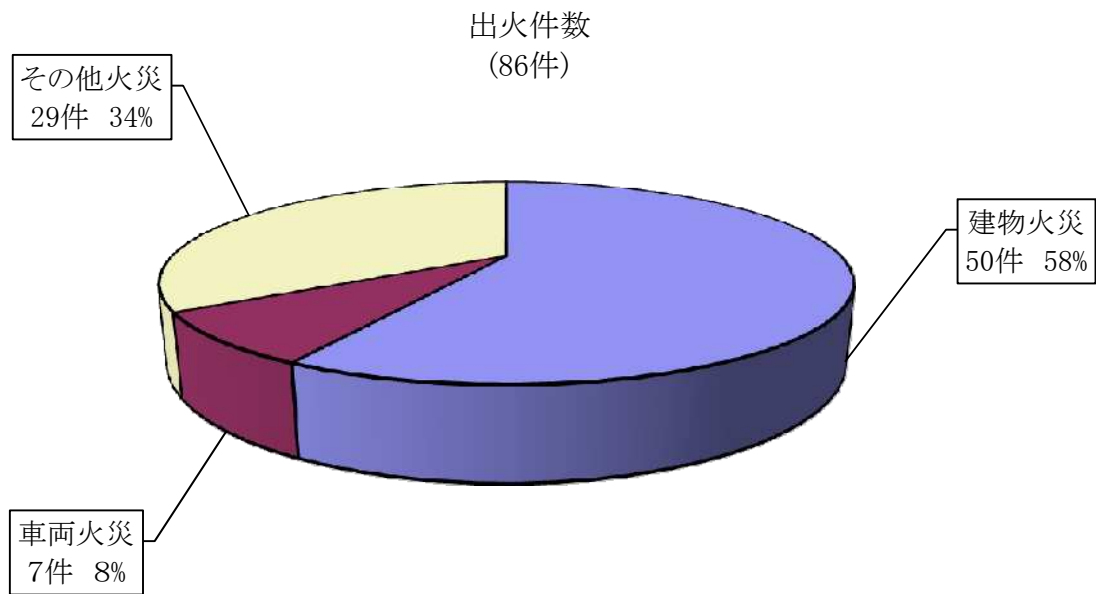
順位	年										
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
1 位	放 火 70	放 火 38	放 火 43	放 火 62	放 火 43	放 火 25	放 火 33	放 火 35	放 火 29	たばこ 21	
2 位	こ ん ろ 17	たばこ 17	たばこ 19	たばこ 21	たばこ 23	こ ん ろ 21	たばこ 14	たばこ 22	たばこ 15	こ ん ろ 17	
3 位	たばこ 12	こ ん ろ 14	こ ん ろ 13	こ ん ろ 16	こ ん ろ 21	たばこ 20	こ ん ろ 火 遊 び 各 12	こ ん ろ 19	こ ん ろ 13	放 火 11	
4 位	ス ト ー プ 火 遊 び 各 7	火 遊 び 8	火 遊 び 11	火 遊 び 7	ス ト ー プ 6	火 遊 び 4		配 線 器 具 5	ス ト ー プ 7	火 遊 び 5	
5 位		排 気 管 電 気 機 器 マ ッ チ ・ ラ イ タ ー 各 4	配 線 器 具 5	配 線 器 具 6	配 線 器 具 5	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー 3	電 気 機 器 配 線 器 具 溶 接 機 ・ 溶 断 機 灯 火 各 4	排 気 管 電 気 装 置 電 灯 電 話 等 の 配 線 各 3	火 入 れ 6	電 気 機 器 4	

※放火には、放火の疑いを含む

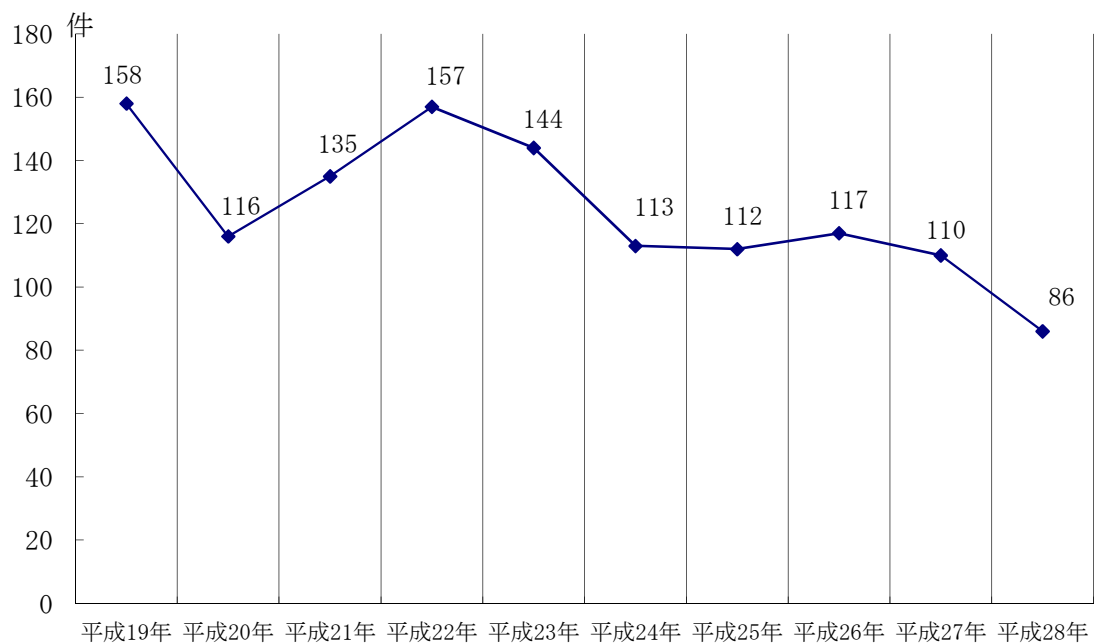
## 時 間 別 火 災 発 生 状 況

区分 時間	出火件数	焼損棟数	り災世帯	焼 損 面 積		死 者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
				建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)			
合 計	86	59	40	2,557	57	0	15	262,394
0～1	5	5	3	21			2	7,604
1～2								
2～3	1	1						3
3～4	2	2	2					202
4～5								
5～6	4	2	1	15				4,760
6～7	1	1	1				1	18
7～8	2	2	2	4			1	737
8～9	2	1	1					116
9～10	3	1						16
10～11	2	1						53
11～12	5	3	3	20				4,105
12～13	5							10
13～14	12	5	3		57			33
14～15	7	4	3				1	9
15～16	5	5		2,169			1	233,409
16～17	4	1	1					
17～18	5	8	6	304			2	7,728
18～19	4	4	3				4	33
19～20	5	3	3				1	4
20～21	3	3	3	10			1	3,094
21～22	4	3	2					128
22～23	1							
23～24	4	4	3	14			1	332
不 明								

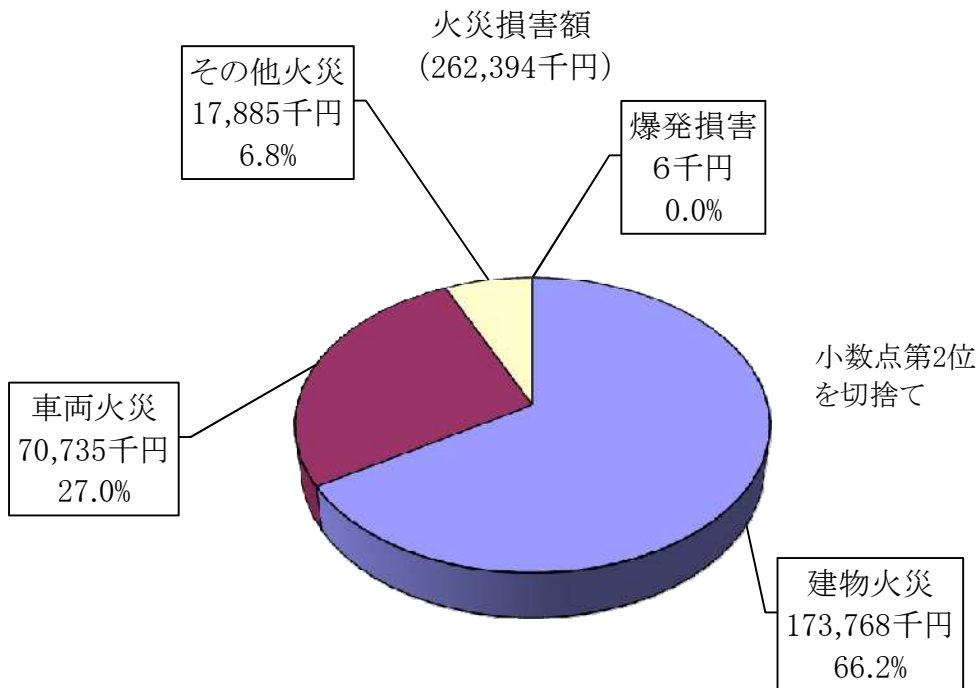
## 火災種別出火件数



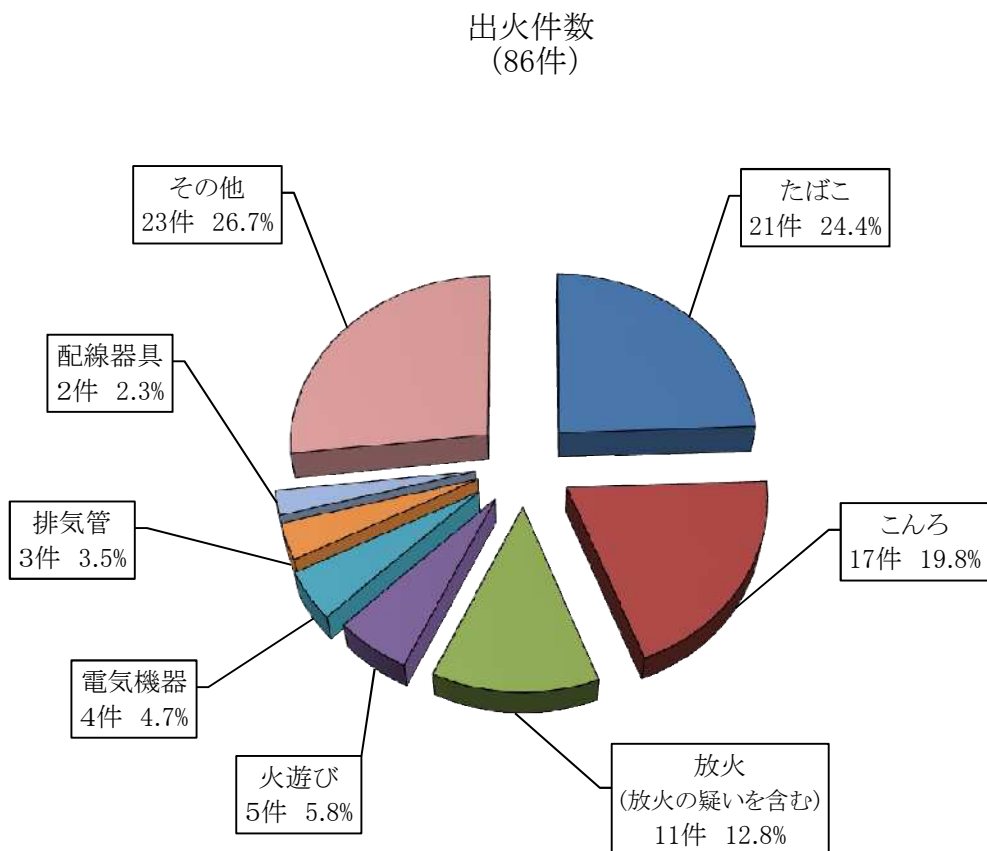
## 火災件数の推移



## 火災損害額状況



## 原因別出火件数



# 月別火災発生状況

区分	出火件数							焼損棟数			り災世帯数			焼損面積		死者	負傷者	損害額 (千円)									
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	爆	計	全	半	小	計	建物	林野	(a)			(人)	(人)	合計	建物	建築物	收容物	林	車	船	航空機
1月	4	4	2			2		4		4	4	1	3	4				1	18	17	1		842			610	
2月	3		2			6		3		2	2	1	2	2				1	25	25			54				
3月	5					5		11	3	7	8	7	1	8	2	13	57	1	11,361	9,108	2,253		185		6		
4月	5							5		1	7	1	4	7	1	15	20	1	2,803	2,732	71						
5月	8					2		8		1	6	1	7	6		12		6	218	205	13				25		
6月	4					1		3			2	3	2	2		2			4	2	2				1		
7月	3					3		3			2	3	2	2		3			90	6	6		75		9		
8月	5					4													29				14		15		
9月	5							8	1	2	2	4	2	1	1	5	2,205	2	158,886	128,656	30,230		68,965		17,188		
10月	6					2		4			2	4	2			6		1	19	3	16						
11月	6					3		6		2	3	2	4	3	1	7	14	2	415	326	89		600		31		
12月	5					1		4			2	4	2			4			19	5	8				6		
合計	86	50	7			29		59	4	1	15	39	40	4	1	85	2,557	15	173,768	141,079	32,689		70,735		17,885	6	



### 署別火災発生状況

区分 署別	出火件数								焼損棟数					り災世帯数				り 災 人 員 (人)	焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額 (千円)	
	合 計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災	爆 発	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (㎡)	林 野 (a)				
西 宮 消 防 署	小計	27	17		2			8		17			7	10	15	2	1	12	29	59			9	11,798
	本署	20	14		2			4		14			6	8	12	2	1	9	21	59			5	11,767
	北夙川	7	3					4		3			1	2	3			3	8				4	31
鳴 尾 消 防 署	小計	29	18		3			8		21	1	1	3	16	12			12	29	2,179			2	238,552
	本署	18	15		2			1		18	1	1	2	14	9			9	23	2,179			2	238,466
	浜	11	3		1			7		3			1	2	3			3	6					86
瓦 木 消 防 署	小計	18	11					7		11			1	10	6			6	12	15			3	4,166
	本署	13	6					7		6				6	3			3	5				1	21
	甲東	5	5							5			1	4	3			3	7	15			2	4,145
北 消 防 署	小計	12	4		2			6		10	3		4	3	7	2		5	15	304	57		1	7,878
	本署	5	2					3		2				2	2			2	5	0	57			28
	山口	7	2		2			3		8	3		4	1	5	2		3	10	304			1	7,850
合計		86	50		7			29		59	4	1	15	39	40	4	1	35	85	2,557	57		15	262,394



### 用途別建物火災発生状況

用途	区分	出火件数	焼損棟数					り災世帯数				り災人員(人)	死者(人)	負傷者(人)	焼損面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)
			計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損					
住宅	一般住宅	3	9	3		5	1	7	2		5	16		5	304	7,522
	共同住宅	27	27			7	20	28	1	1	26	60		8	48	7,202
	居住併用															
	計	30	36	3		12	21	35	3	1	31	76		13	352	14,724
	飲食店	2	2				2	1			1	2				9
	物品販売店舗	1	1				1									1
	学校	3	3			1	2								15	4,128
	公衆浴場	1	1				1									70
	工場	1	1				1									6
	倉庫	1	4	1	1		2						1	2,169	147,233	
	複合用途(特定)	7	7			2	5	2	1		1	2		1	21	7,574
	複合用途(非特定)	3	3				3	2			2	5				19
	その他	1	1				1									4
	合計	50	59	4	1	15	39	40	4	1	35	85		15	2,557	173,768

### 建物火災焼損面積の推移

区 分	年 別										
	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	平 均
建物火災件数	92	61	71	88	70	61	61	74	62	50	69.0
焼損面積 (㎡)	464	747	1,252	1,297	1,069	686	513	964	541	2,557	1,009.0
焼損面積指数	100	161	270	280	230	148	111	208	117	551	217
建物1件当り 焼損面積 (㎡)	5.0	12.2	17.6	14.7	15.3	11.2	8.4	13.0	8.7	51.1	15.7
建物1件当り 焼損面積指数	100	244	352	294	306	224	168	260	174	1,022	314

(平成19年=指数100)

### 覚知別出火件数

年 別	覚知別									
	合 計	1 1 9 番	1 (携 帯 番)	事 後 聞 知	加 入 電 話	加 (携 帯 電 話)	駆 付 通 報	警 察 電 話	そ の 他	
平成28年	86	9	27	36	10	1	2		1	
平成27年	110	31	39	29	7	1	1		2	

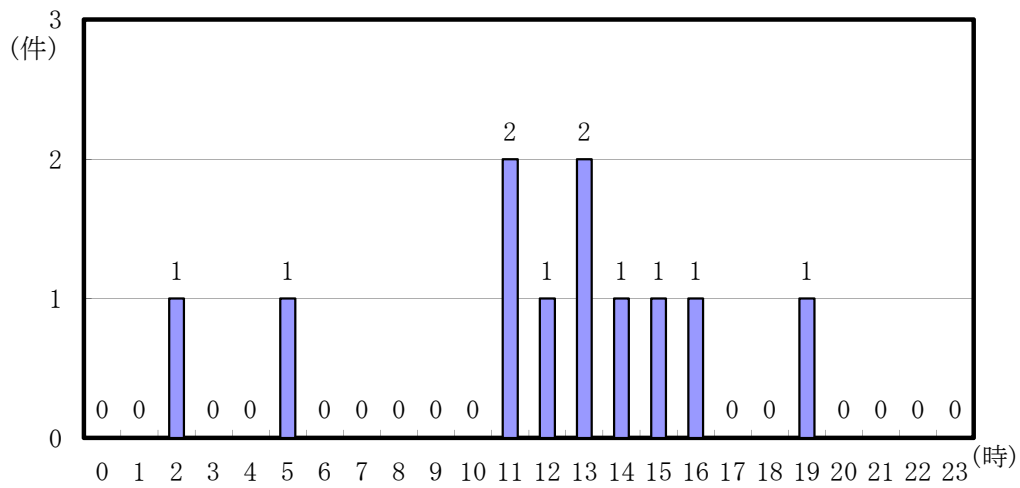
### 放火件数の推移

年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	平均
件数	70	38	43	62	43	25	33	35	29	11	38.9

### 放火の曜日別出火件数

曜日	日曜 及び 祝日	月	火	水	木	金	土	合計
件数	1	1	2	3		3	1	11

### 放火の時間別出火状況



### 放火による着火物

着火物	件数
ごみ類	2
わら及びわら製品	1
紙屑、わら屑	1
落葉	1
袋及び紙製品	1
第一石油類	1
木材原木	1
ごみ屑	1
その他	2
合計	11

### 隣接都市火災等応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合計	3	7	25
	5	17	61
尼崎市	1	3	12
	3	12	43
宝塚市	1	1	3
	1	3	12
芦屋市			
神戸市	1	3	10
	1	2	6

※上段は応援、下段は被応援を示す

### 高速道路における隣接都市火災等応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合計	2	6	22
	4	15	55
尼崎市	1	3	12
	3	12	43
宝塚市			
	1	3	12
芦屋市			
神戸市	1	3	10

※上段は応援、下段は被応援を示す

### 主な火災発生状況

① 損害額 1,000万円以上 ② 焼損面積 建物300㎡、林野200a 以上 ③ 即報、詳報に該当する火災 ④ 消防長が必要と認める火災										
No.	月 日	種 別	出 火 時 間	鎮 火 時 間	覚 知	発 生 場 所	火 元 用 途	死 者	負 傷 者	焼 損 状 況
1	3月8日	建物	17時55分	23時16分	専用電話 (IP電話)	山口町船坂	一般住宅		1	一般住宅1棟及び隣接住戸 2棟を全焼し、隣接住戸3棟 の一部を焼損したものの。
2	9月3日	建物	15時58分	翌8時6分	専用電話 (携帯電話)	鳴尾浜2丁目	倉庫		1	倉庫1棟を全焼し、隣接倉 庫の一部を焼損したものの。

# その他災害



名神高速道路合同防災訓練



# そ の 他 災 害 の 概 要

## 1 概 況

平成28年中のその他災害発生件数は、前年より10件増加し、971件発生している。

内訳は、「緊急確認」288件（30%）が最も多く、「支援活動」228件（23%）、「補完」226件（23%）「緊急措置」152件（16%）、「その他」77件（8%）となっている。

消防署別では、西宮消防署で277件、鳴尾消防署で208件、瓦木消防署で187件、北消防署で299件発生している。

## 2 出動状況

平成28年中のその他災害による出動は、1,196台の4,558人となっている。

消防署別出動状況は、西宮消防署が372台の1,512人（本署～266台、1,100人、北夙川～106台、412人）、鳴尾消防署が280台の1,097人（本署～189台、727人、浜～91台、370人）、瓦木消防署が224台の874人（本署～160台、631人、甲東～64台、243人）、北消防署320台の1,075人（本署～148台、482人、山口～172台、593人）となっている。

## 3 災害内容

発生件数971件の災害内容の主な内訳は、「出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備」197件（20%）、「自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動」194件（20%）、「道路上における活動隊の安全確保」179件（18%）、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」96件（10%）、「火災通報により出動したが、火災ではなかった事案」37件（4%）となっている。

## 所 属 別 そ の 他 災 害 発 生 状 況

区 分	所属別	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			合 計
		小 計	本 署	北夙川	小 計	本 署	浜	小 計	本 署	甲 東	小 計	本 署	山 口	
緊 急 措 置	火災通報により出動したが、火災ではなかった事案	17	13	4	11	6	5	7	4	3	2	1	1	37
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	36	27	9	18	14	4	16	10	6	26	10	16	96
	ガス漏れ	3	1	2	1	1		2	2					6
	その他緊急対応措置が必要な事案	3		3	1	1		1	1		8	3	5	13
緊 急 確 認	火災と紛らわしい煙の確認	8	5	3	6	6		9	6	3	4	3	1	27
	異臭・異音	10	3	7	6	5	1	10	4	6	4	3	1	30
	自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動	75	57	18	60	30	30	44	36	8	15	7	8	194
	ガス・電気等の消し忘れ	2		2										2
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	6	6		4	4		1	1		1		1	12
	その他緊急確認が必要な事案	2	1	1	11	11		5	3	2	5	2	3	23
支 援 活 動	救急隊の支援に携わった事案	10	4	6	11	10	1	12	11	1	6	2	4	39
	道路上における活動隊の安全確保	62	53	9	39	24	15	37	31	6	41	33	8	179
	上記に該当しない支援活動				9		9				1	1		10
そ の 他	自然災害対応										3	2	1	3
	飼育動物等の保護 危険生物等の排除	6	3	3	4	4		6	4	2	6	4	2	22
	焚き火、野焼き、火遊び等				1		1							1
	高齢者、身体障害者等の介助	8	5	3	26	22	4	9	6	3				43
	その他社会的危険が考えられる事案	3	2	1				3	1	2	2	1	1	8
補 完	出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備	25		25				25	23	2	147	63	84	197
	出動により消防車両が不足した地域への消火隊の移動配備	1		1							28		28	29
合 計		277	180	97	208	138	70	187	143	44	299	135	164	971
出動台数		372	266	106	280	189	91	224	160	64	320	148	172	1,196
出動人員		1,512	1,100	412	1,097	727	370	874	631	243	1,075	482	593	4,558



# 水防統計



水防工法訓練



## 水 防 災 害 活 動 状 況

(平成28年度中)

No.	月 日	曜日	原 因	対 策	活 動	被 害
1	5月3日	火	暴風警報	暴風警報発表に伴い参集	なし	特になし
2	5月16日	月	時間雨量30mm超及び連続雨量100mm超	各署巡らを実施	巡ら：10回 10台 37名	特になし
3	6月23日	木	大雨洪水警報及び時間雨量30mm超	各署巡らを実施 (南部地域のみ)	巡ら：6回 6台 20名	特になし
4	6月24日	金	大雨洪水警報及び時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 28名	特になし
5	8月5日	金	時間雨量30mm超	各署巡らを実施 (南部地域のみ)	巡ら：6回 6台 22名	特になし
6	9月20日	火	台風16号	水防警戒指令基本、強化及び水防指令第1号発令に伴い参集 避難準備情報発令に伴い水防巡視と併せて広報活動実施	巡視：14回 14台 49名 広報：8回 8台 28名	特になし
7	10月5日	水	台風18号	暴風警報及び水防警戒指令発令に伴い参集 (北部地域のみ強化体制、生瀬分団車庫に北1及び北消防署に局1を配置)	巡視：5回 5台 17名	特になし



# 救急統計



親子で学ぼう 救急講習



# 救 急 の 概 要

## 1 概況

平成28年中の救急出動件数は22,850件、搬送人員は20,912人で、前年に比べ出動件数は477件、搬送人員は577人増加している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は、「急病」が全体の63.3%を占め、「一般負傷」が16.6%、「交通事故」が7.9%となっている。

また1日の平均出動件数は62.4件で23分に1回救急車が出動し、西宮市民の21人に1件の割合で救急要請したこととなる。

## 2 応急手当普及啓発

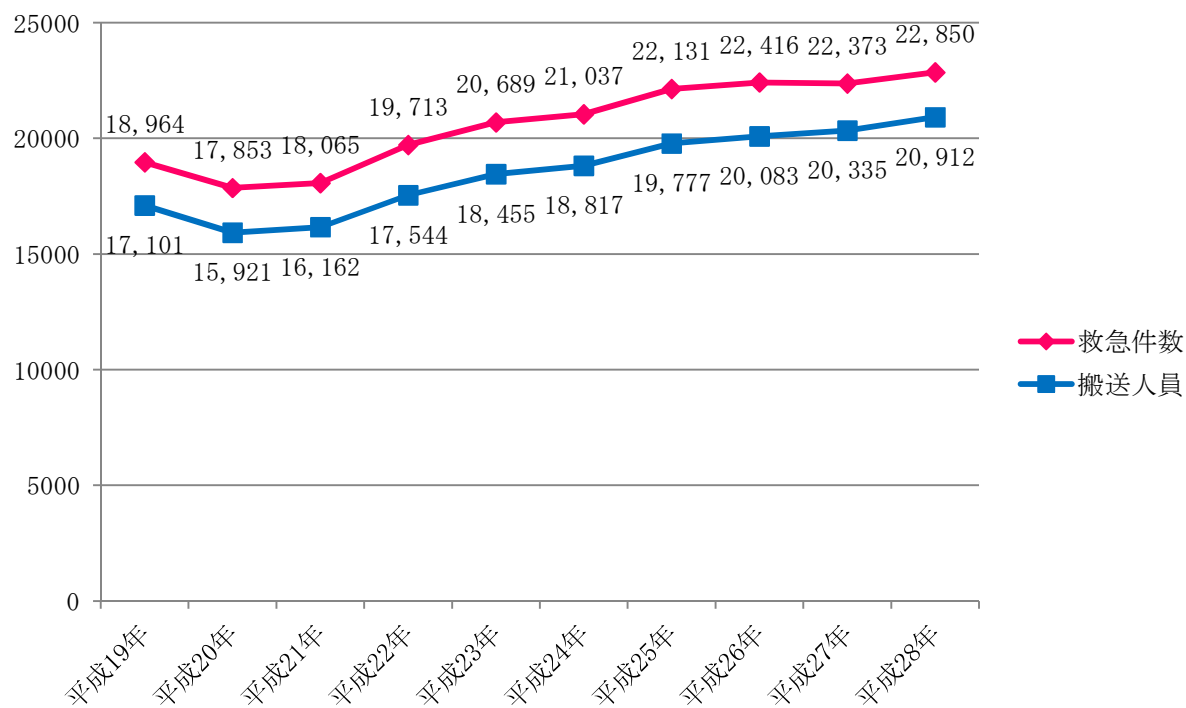
応急手当の普及促進については、短時間で受講できる「救命入門コース」を開催するなど各種救急講習会を積極的に開催するとともに、救命指導員（応急手当普及員）の育成を推進し、市民による病院前救護体制の強化を図り救命効果の向上に努めた。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務への理解と協力を求めるために市ホームページに加え、市公式フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワークサービスを活用し、市民への普及啓発に努めた。

## 救 急 出 動 件 数

区 分	平成28年	平成27年	前 年 比 較	
	A	B	増 減 数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数	22,850 件	22,373 件	477 件	2.1 %
傷 病 者 搬 送 人 員	20,912 人	20,335 人	577 人	2.8 %
1 日 平 均 出 動 件 数	62.4 件	61.3 件	西 宮 市 推 計 人 口  平成28年 1 月 1 日 現 在 487,947 人  平成29年 1 月 1 日 現 在 488,843 人  前 年 比 +896 人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数	23 分 に 1 件	23 分 に 1 件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数	21 人 に 1 件	22 人 に 1 件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	23 人 に 1 人	24 人 に 1 人		
人 口 1 万 人 あ た り の 出 動 件 数	468 件	459 件		

### 救急出動件数・搬送人員の推移

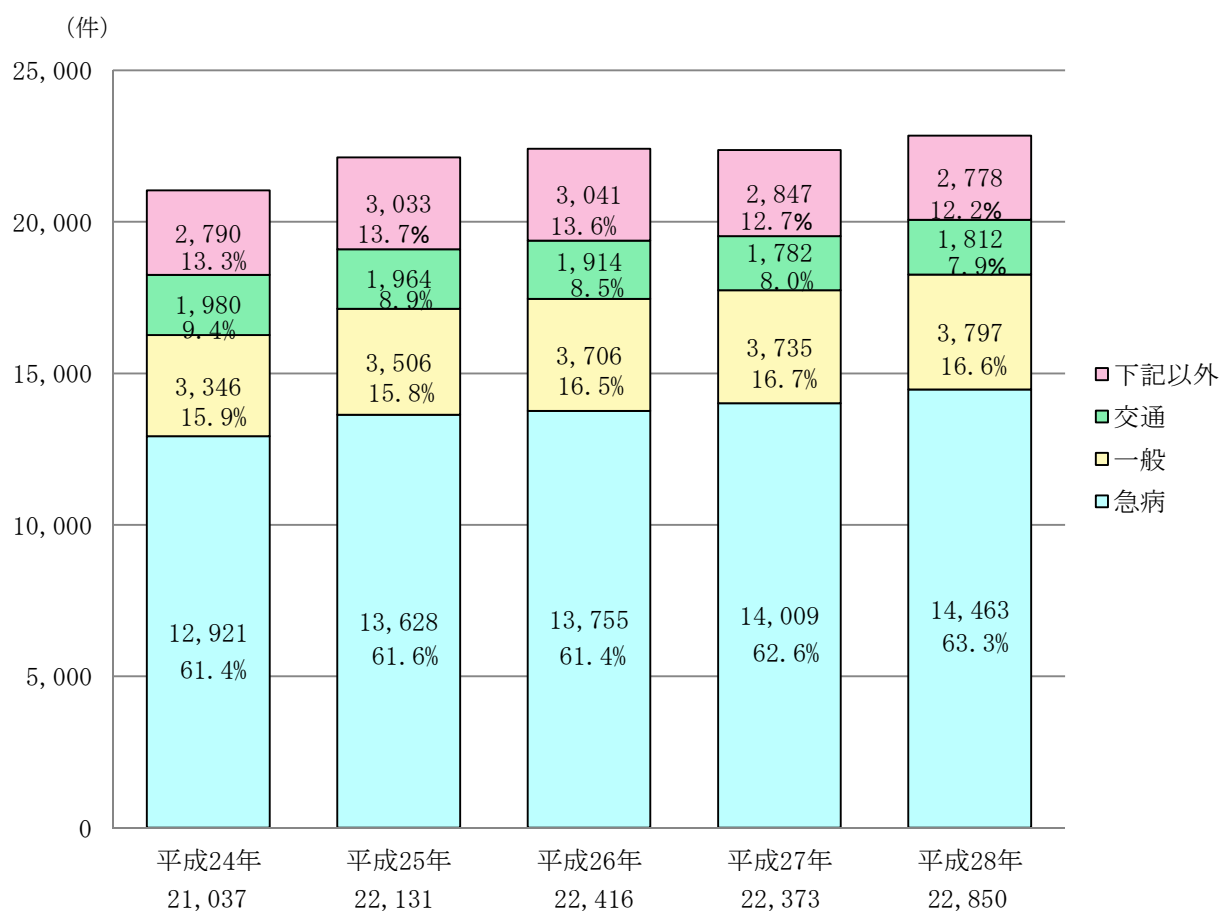




## 事故種別出動件数及び搬送人員

	急病	交通事故	一般負傷	自損行為	労働災害	加害	運動競技	火災	水難	自然災害	その他	合計
出動件数(件)	14,463	1,812	3,797	185	158	113	216	9	10	3	2,084	22,850
構成比(%)	63.3	7.9	16.6	0.8	0.7	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	9.1	100
搬送人員(人)	13,493	1,783	3,550	134	154	103	217	11	5	3	1,459	20,912
構成比(%)	64.5	8.5	17.0	0.6	0.7	0.5	1.0	0.1	0.0	0.0	7.0	100

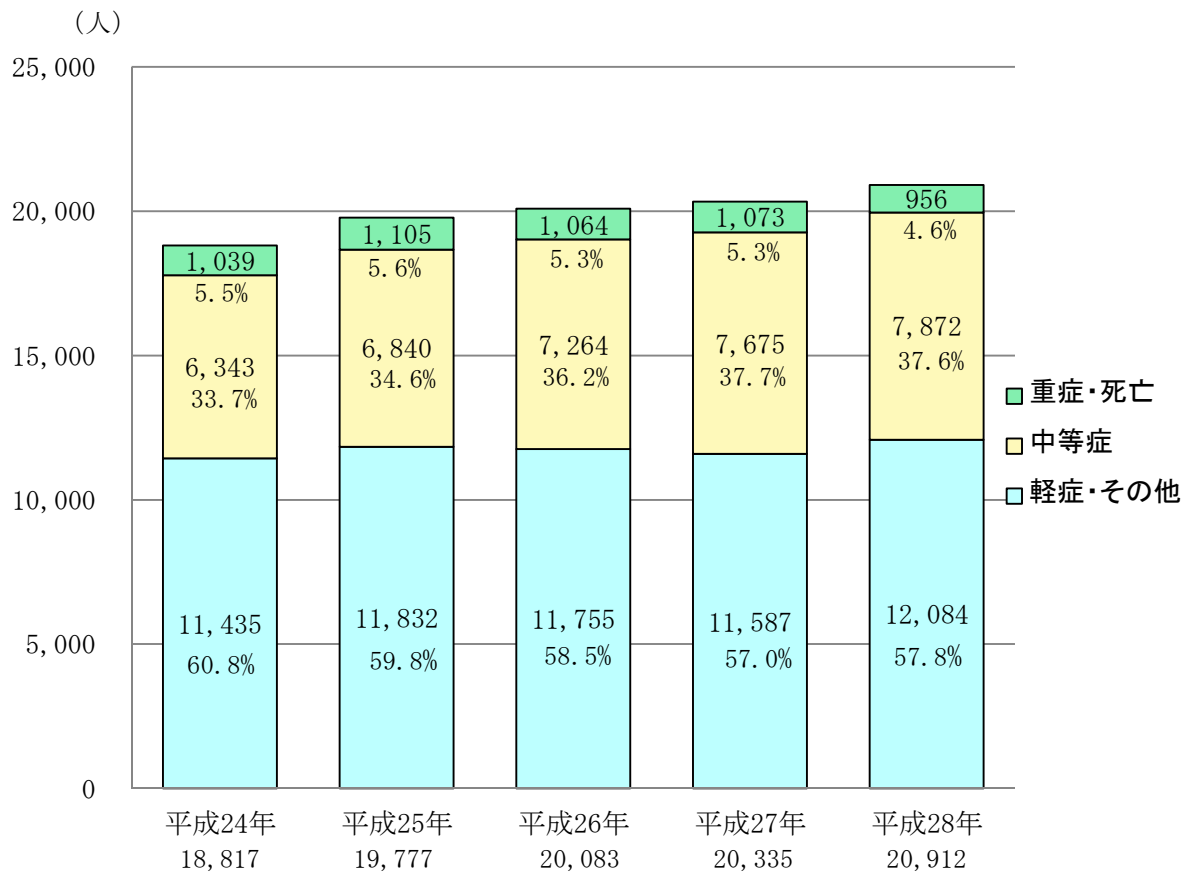
## 事故種別出動件数の推移



### 事故種別傷病程度別搬送人員

		死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
急病	搬送人員(人)	88	294	5,475	7,636		13,493
	構成比(%)	0.7	2.2	40.6	56.6	0.0	100
交通事故	搬送人員(人)	3	53	226	1,501		1,783
	構成比(%)	0.2	3.0	12.7	84.2	0.0	100
一般負傷	搬送人員(人)	13	349	796	2,391	1	3,550
	構成比(%)	0.4	9.8	22.4	67.4	0.0	100
その他	搬送人員(人)	17	139	1,375	554	1	2,086
	構成比(%)	0.8	6.7	65.9	26.6	0.0	100
計	搬送人員(人)	121	835	7,872	12,082	2	20,912
	構成比(%)	0.6	4.0	37.6	57.8	0.0	96

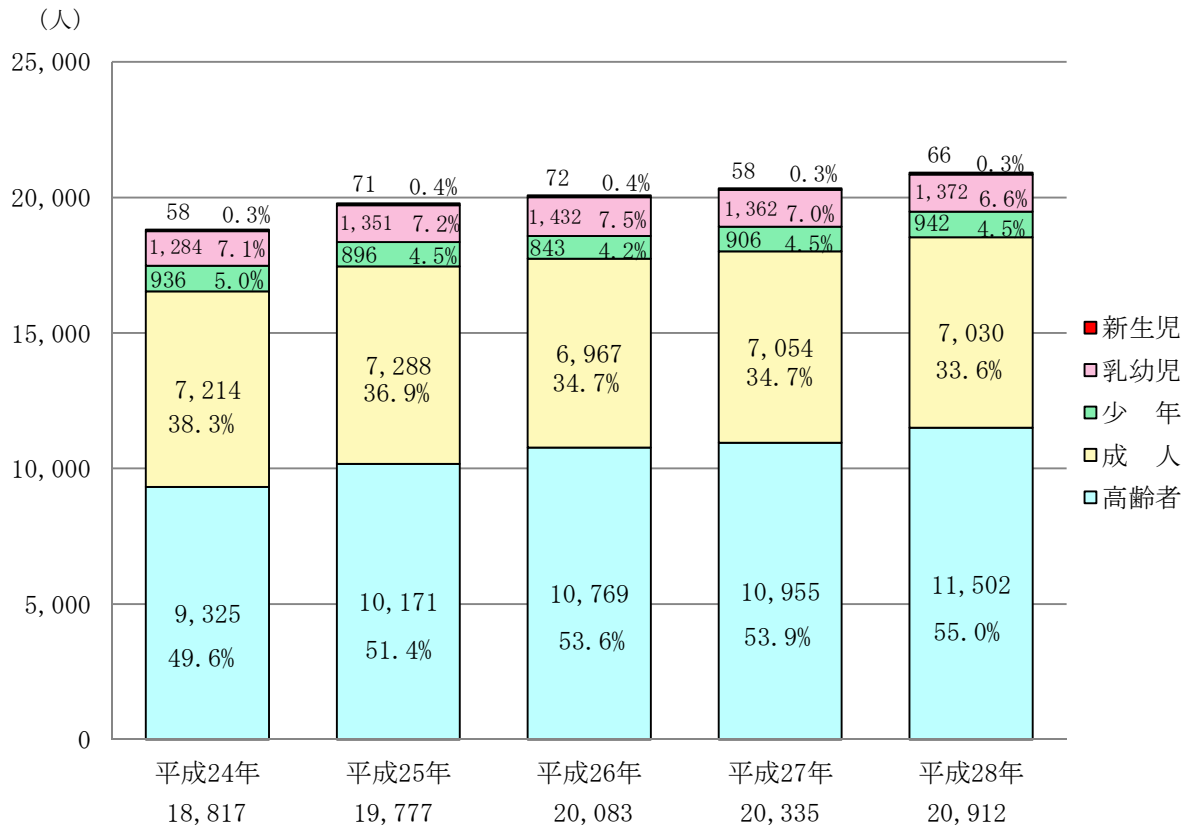
### 傷病程度別搬送人員の推移



## 年齢区別事故種別搬送人員

		急病	一般	交通	その他	計
新生児	搬送人員(人)	7	2		57	66
	構成比(%)	0.1	0.1	0.0	2.7	0.3
乳幼児	搬送人員(人)	844	415	67	46	1,372
	構成比(%)	6.3	11.7	3.8	2.2	6.6
少年	搬送人員(人)	432	156	174	180	942
	構成比(%)	3.2	4.4	9.8	8.6	4.5
成人	搬送人員(人)	4,400	688	1,095	847	7,030
	構成比(%)	32.6	19.4	61.4	40.6	33.6
高齢者	搬送人員(人)	7,810	2,289	447	956	11,502
	構成比(%)	57.9	64.5	25.1	45.8	55.0
計	搬送人員(人)	13,493	3,550	1,783	2,086	20,912
	構成比(%)	100	100	100	100	100

## 年齢区別搬送者の推移



新生児：生後28日未満

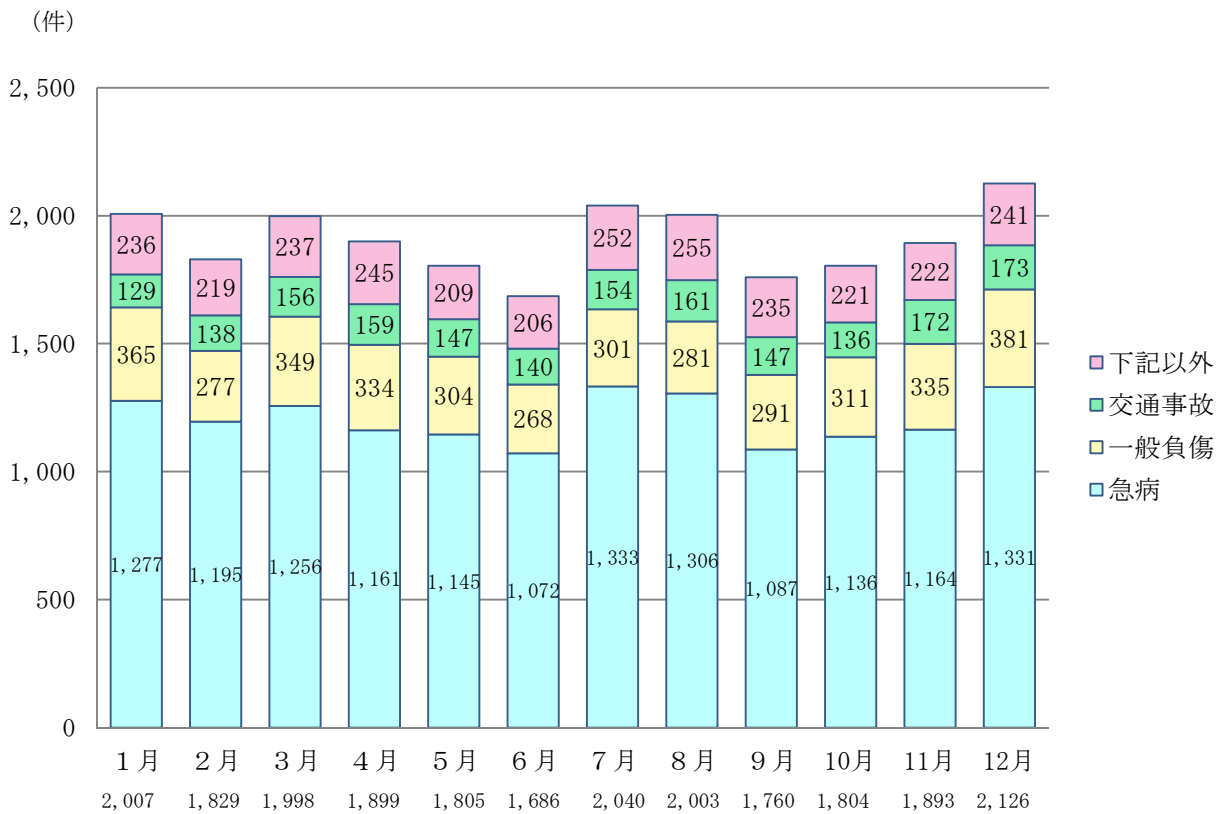
成人：満18歳以上満65歳未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

高齢者：満65歳以上

少年：満7歳以上満18歳未満

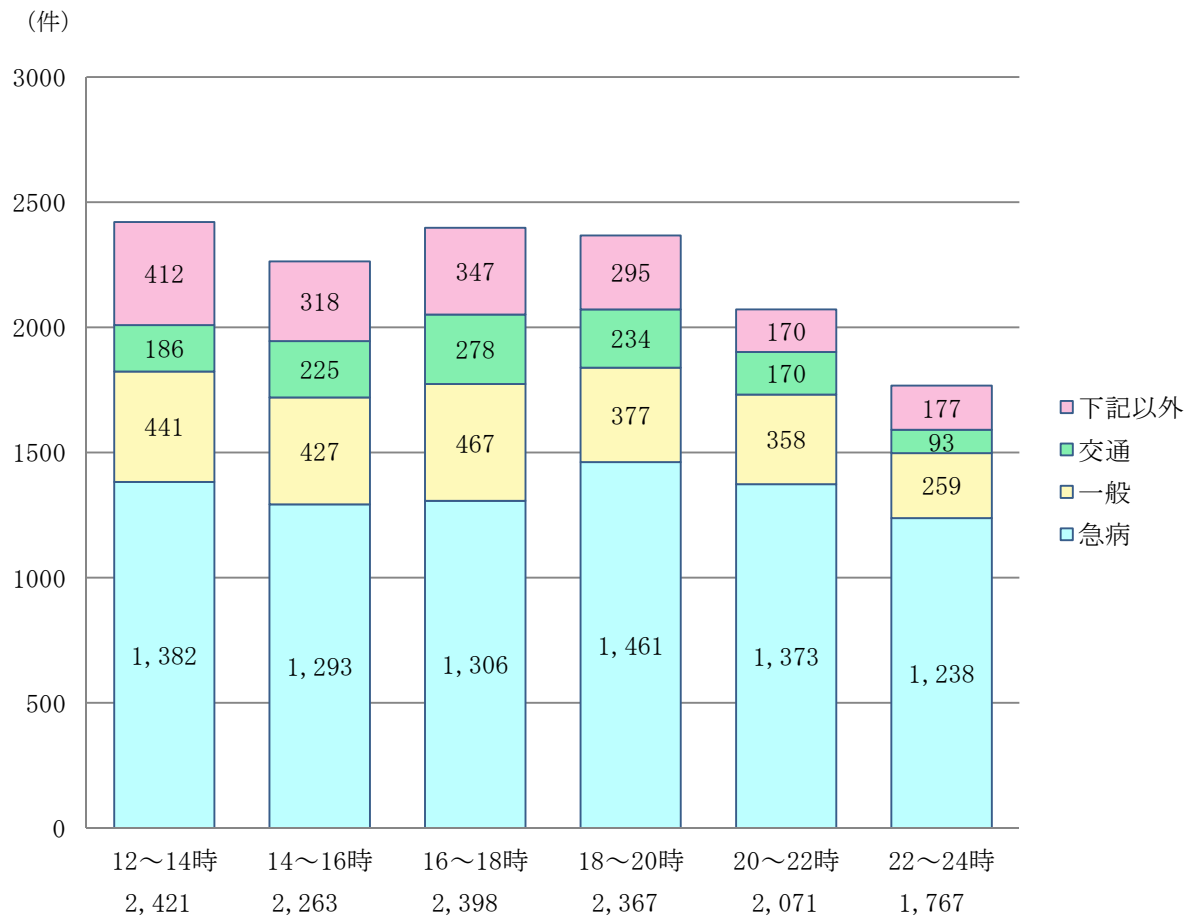
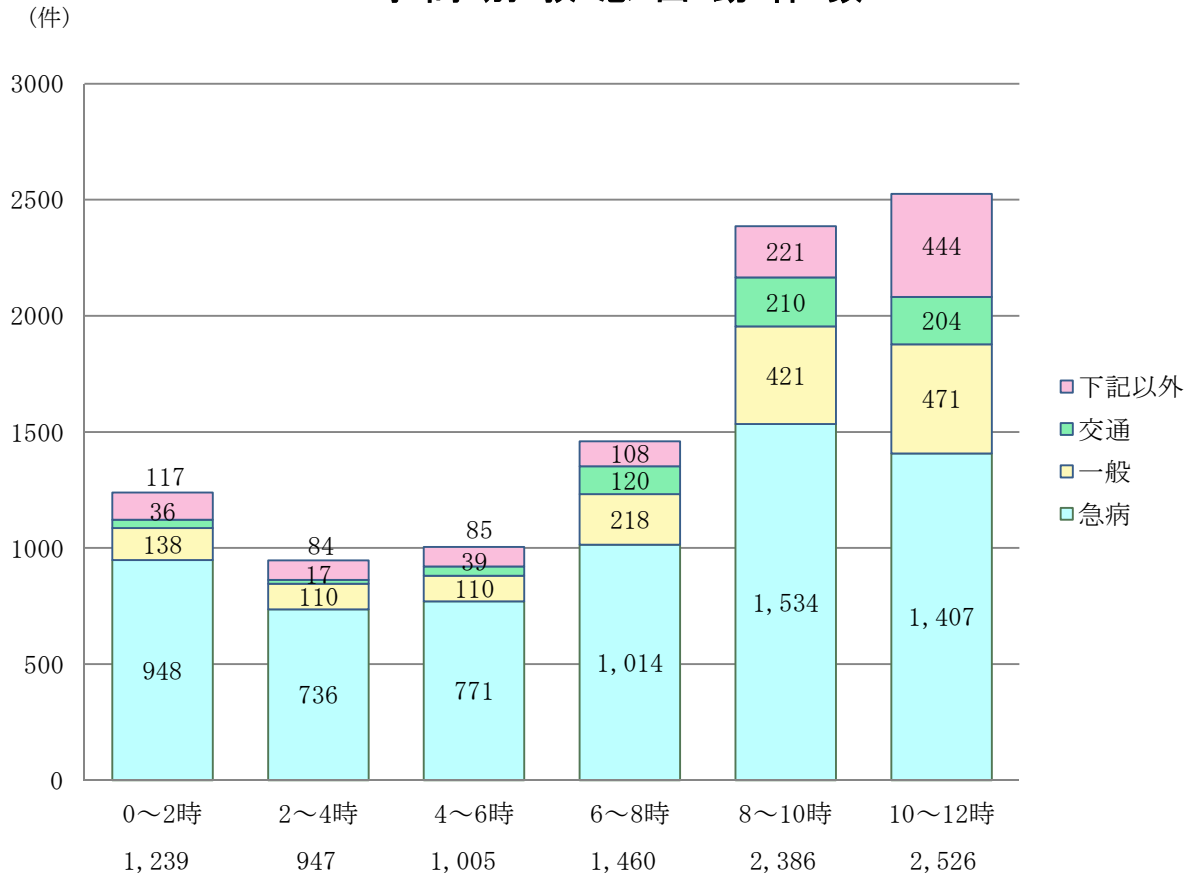
## 月別救急出動件数



## 曜日別救急出動件数



## 時間別救急出動件数



## 医療機関別搬送状況

医療機関別 区分	救急告示医療機関				その他の医療機関				合 計				そ の 他 の 場 所	合 計	
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的				計
			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			
合計	5,439	17	8,969	2	1,054	20	5,139	270	6,493	37	14,108	272	20,910	2	20,912
比率	69.0%				31.0%				31.2%		68.8%		100%		100%
市内	4,347		8,036		25		4,754	240	4,372		12,790	240	17,402	2	17,404
市外	1,092	17	933	2	1,029	20	385	30	2,121	37	1,318	32	3,508		3,508

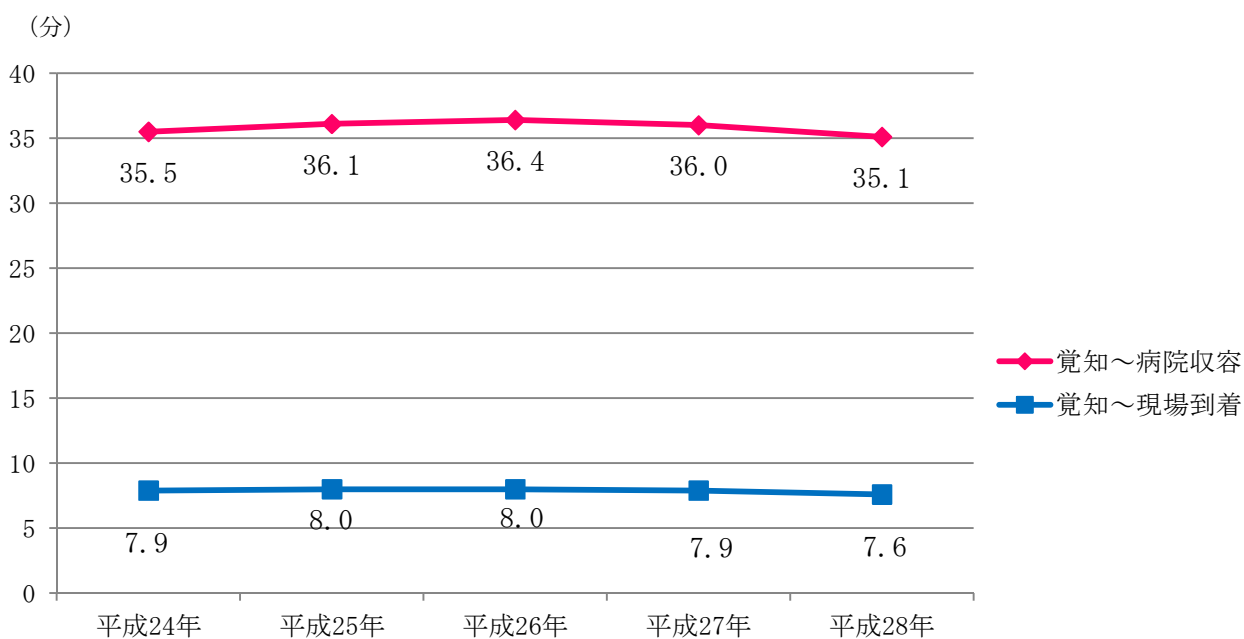
## 隣接都市救急応援（被応援）出動状況

		出 動 件 数	出 動 人 員	出 動 台 数
合 計	応 援	47	143	47
	被応援	46	139	46
尼 崎 市	応 援	9	27	9
	被応援	13	40	13
宝 塚 市	応 援	20	60	20
	被応援	21	63	21
芦 屋 市	応 援	10	31	10
	被応援	10	30	10
神 戸 市	応 援	8	25	8
	被応援	2	6	2
そ の 他	応 援			
	被応援			

## 現場到着及び病院収容所要平均時間

区 分 隊 別	市 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
覚知～現場到着	7.6		7.5	8.2	7.0	8.1	7.4	8.2	9.9	8.0
覚知～病院収容	35.1		32.9	37.5	33.8	36.5	33.1	36.4	47.5	42.8

## 現場到着及び病院収容所要平均時間の推移



## 応急処置等の状況

応急処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	13,475	1,776	3,522	2,064	20,837
止血	85	55	211	42	393
固定	20	421	162	101	704
人工呼吸	46	2	8	13	69
胸骨圧迫	10		4	3	17
心肺蘇生	248	4	27	32	311
酸素吸入	2,444	118	178	512	3,252
気道確保	352	14	54	56	476
	経鼻エアウェイ	1		1	2
	喉頭鏡等を使用した異物除去	7		13	20
	ラリngeアルチューブ等	9		1	11
気管挿管	5		5	2	12
保温	450	70	83	85	688
被覆	55	463	950	137	1,605
在宅療法継続	35		3		38
除細動	22			1	23
静脈路確保(輸液)	45	2	3	3	53
薬剤投与	21	1	1	2	25
その他の応急処置	11,555	1,502	2,961	1,672	17,690
血圧測定	12,537	1,723	3,160	1,926	19,346
聴診器による心音・呼吸音の聴取	5,255	545	702	537	7,039
血中酸素飽和度の測定	13,194	1,761	3,448	2,009	20,412
心電図	6,759	198	543	642	8,142
β刺激薬投与					
静脈路確保	45	2	3	3	53
	うちCPA前	8	1		9
	うちCPA後	37	1	3	3
血糖測定	86		1		87
エピペン投与	1		1		2
ブドウ糖投与	8				8
合 計	53,228	6,879	12,500	7,773	80,380

## 西宮市医師同乗制度の状況（ドクターカーシステム）

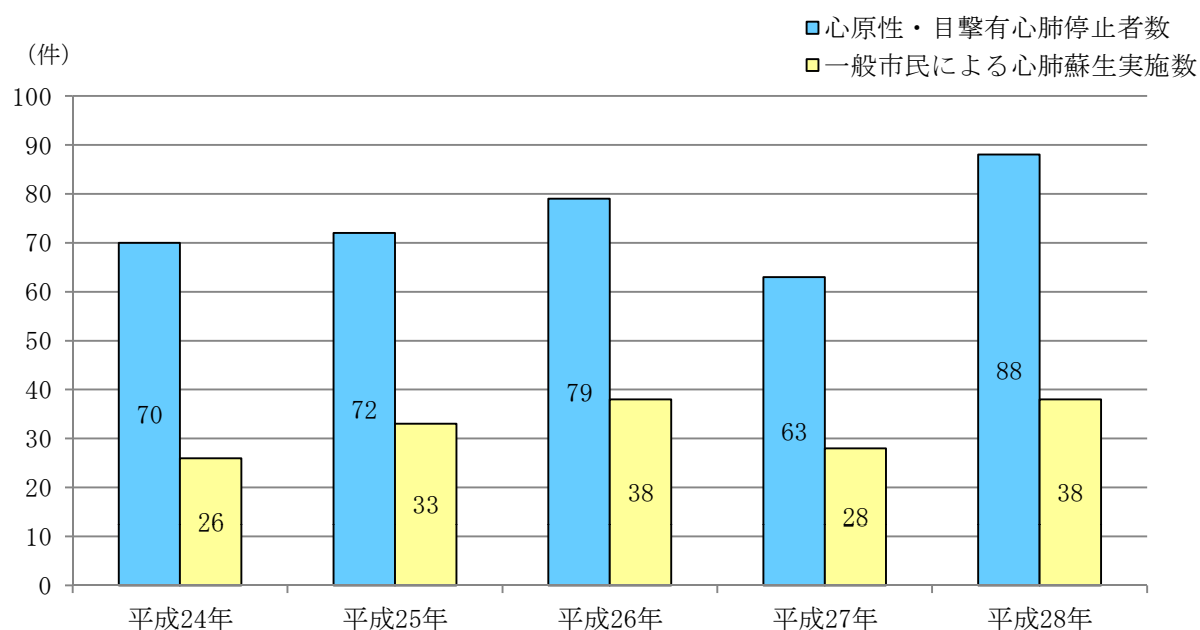
	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
出動件数	16	1	3	4	24
対象者数	16	1	3	4	24
医療機関収容者数	14	1	2	2	19



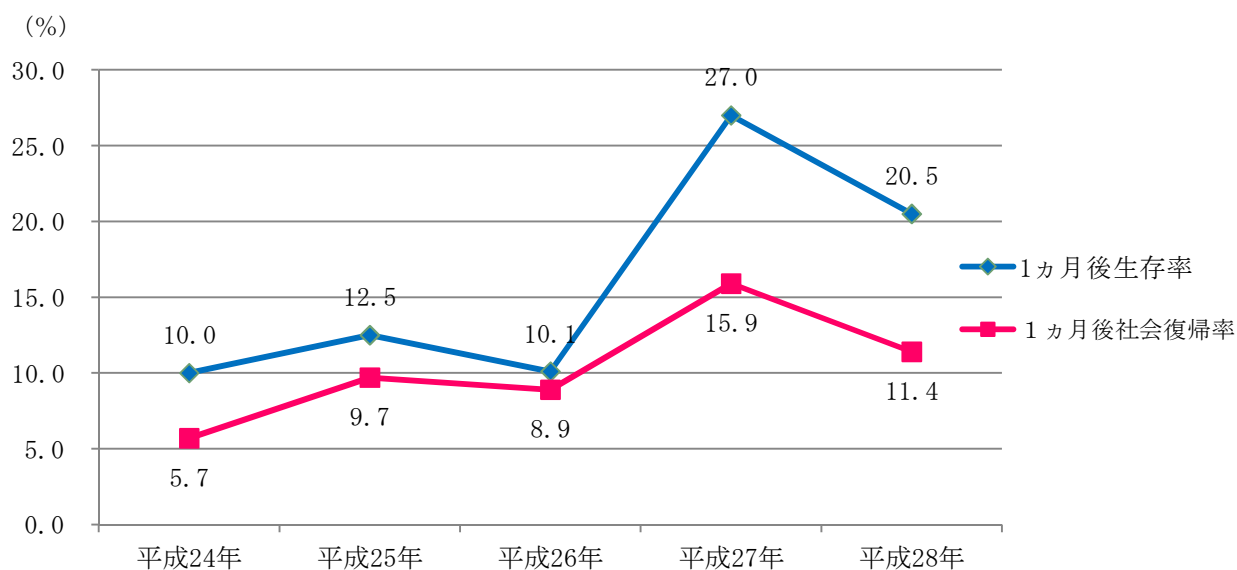
## 心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数	
88	
1ヵ月後生存数	1ヵ月後社会復帰数
18	10

## 心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数と一般市民による心肺蘇生実施数の推移



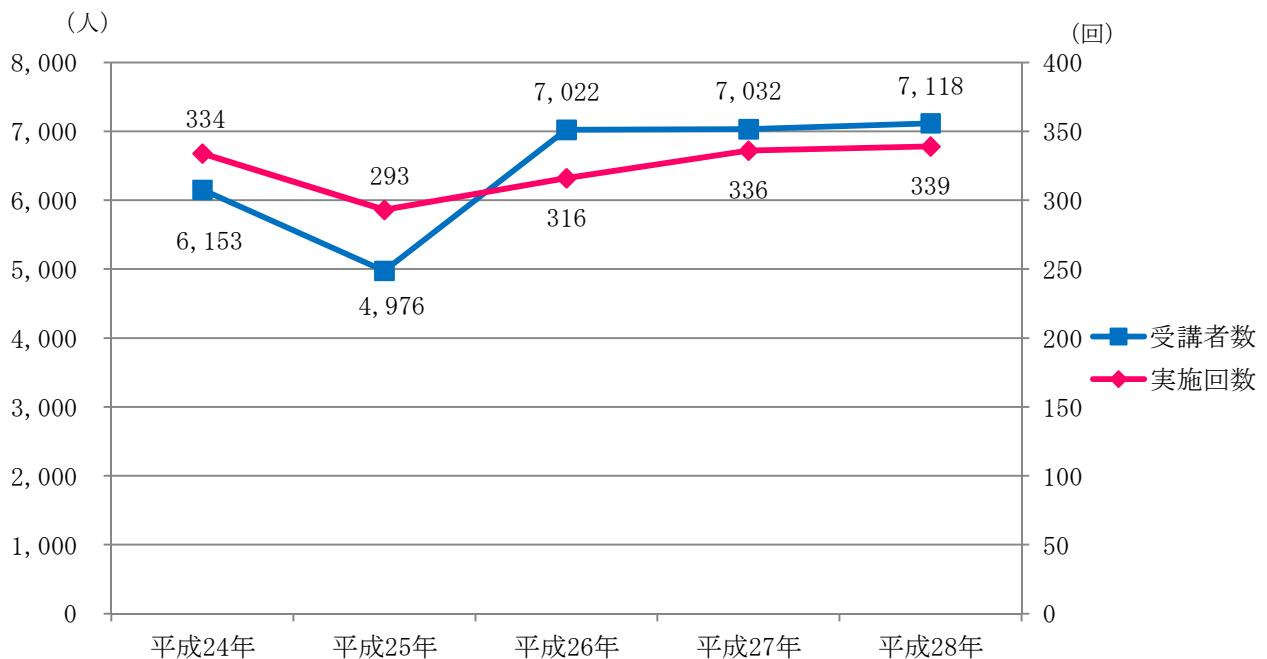
## 心原性かつ一般市民による目撃のあった症例の生存率及び社会復帰率の推移



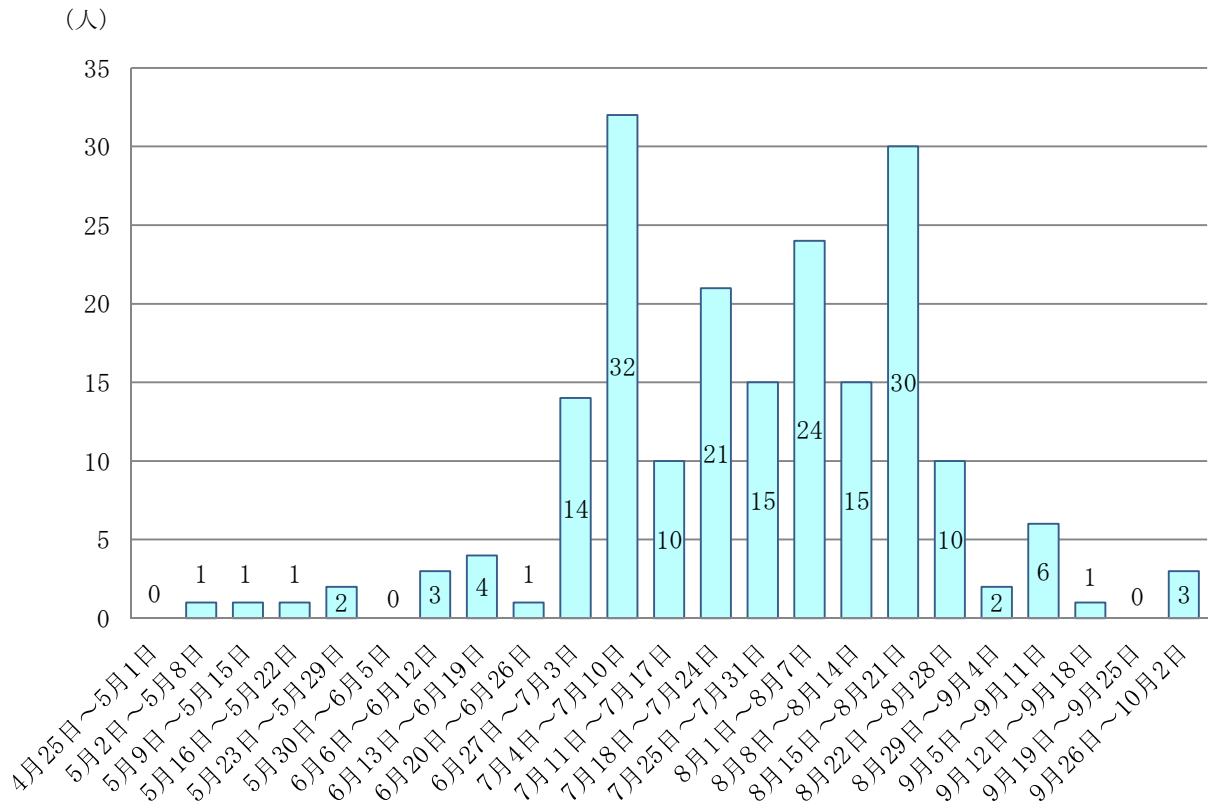
## 所属別救急講習実施状況

区 分		隊 別	合 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
					本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
指導員講習	回数		1	1								
	人数		16	16								
普及員講習	回数		28	28								
	人数		151	151								
普通救命講習	回数		106	17	13	7	14	6	20	12	9	8
	人数		1,457	261	242	140	169	83	252	130	87	93
救命入門コース	回数		102	16	10	6	9	8	22	8	9	14
	人数		1,836	166	108	76	121	156	290	185	405	329
その他の講習	回数		102	10	15	10	15	2	17	19	8	6
	人数		3,648	693	900	365	546	34	354	387	276	93
合 計	回数		339	72	38	23	38	16	59	39	26	28
	人数		7,108	1,287	1,250	581	836	273	896	702	768	515

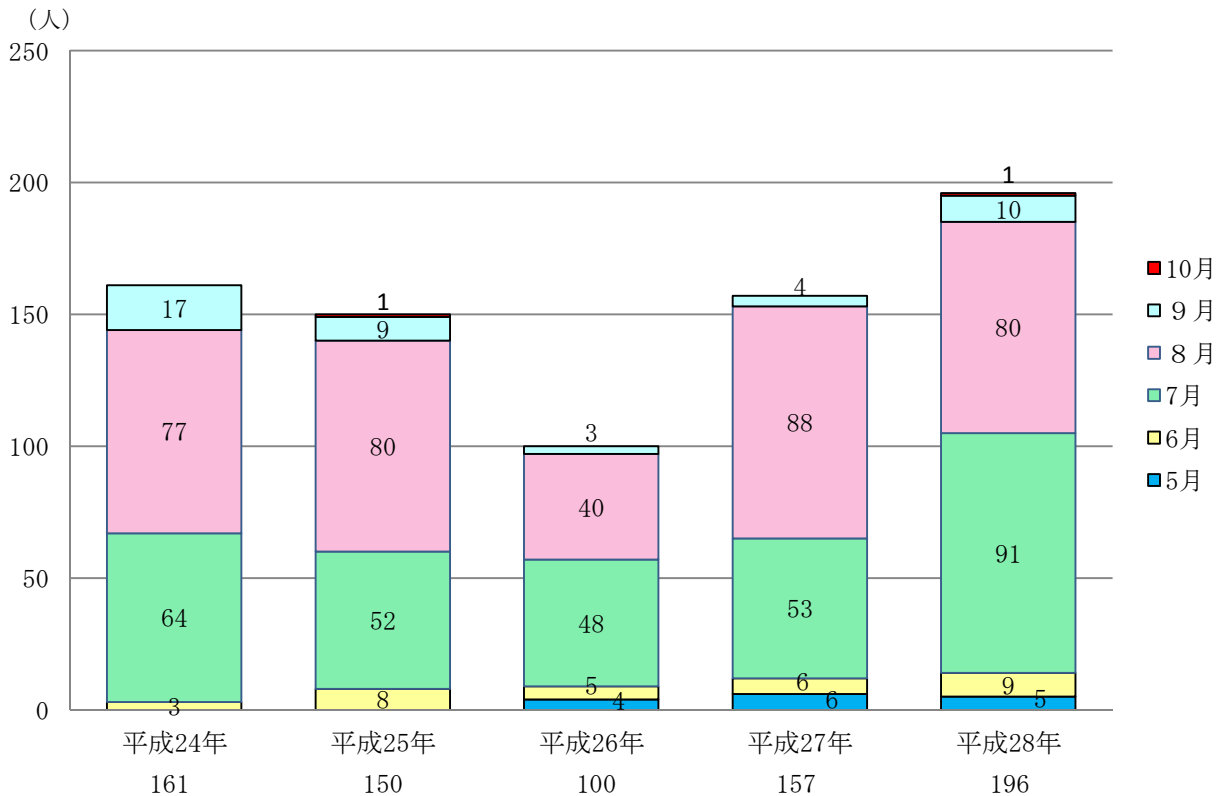
## 救急講習実施回数及び受講者数の推移



## 熱中症による救急搬送状況の週別推移



## 熱中症による救急搬送状況の推移



救 急 出 動 状 況

区 分 事故種別	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度				出 動 人 員	
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症		そ の 他
合 計	22,850	20,732	2,118	20,912	10,334	10,578	121	835	7,872	12,082	2	69,086
火 災	9	9		11	6	5		2	4	5		27
自然災害	3	3		3	1	2		2		1		9
水 難	10	3	7	5	2	3		1		4		30
交 通	1,812	1,654	158	1,783	1,003	780	3	53	226	1,501		5,483
労 働 災 害	158	154	4	154	124	30		11	39	104		475
運 動 競 技	216	214	2	217	153	64		3	34	180		655
一 般 負 傷	3,797	3,541	256	3,550	1,657	1,893	13	349	796	2,391	1	11,480
加 害	113	96	17	103	62	41		1	11	91		344
自 損 行 為	185	134	51	134	39	95	13	13	68	40		561
急 病	14,463	13,468	995	13,493	6,539	6,954	88	294	5,475	7,636		43,711
そ の 他	2,084	1,456	628	1,459	748	711	4	106	1,219	129	1	6,311

救 急 隊 別 出 動 状 況

区 分 隊 別	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度				出 動 人 員	
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症		そ の 他
合計	22,850	20,732	2,118	20,912	10,334	10,578	121	835	7,872	12,082	2	69,086
西宮市消防局												
小 計	9,425	8,557	868	8,628	4,223	4,405	46	303	3,052	5,227		28,539
西宮消防署	7085	6,399	686	6,454	3,173	3,281	34	218	2,257	3,945		21,500
北夙川分署	2,340	2,158	182	2,174	1,050	1,124	12	85	795	1,282		7,039
小 計	7,189	6,468	721	6,505	3,240	3,265	33	287	2,660	3,523	2	21,660
鳴尾消防署	5,487	4,911	576	4,933	2,480	2,453	26	218	2,056	2,633		16,533
浜分署	1,702	1,557	145	1,572	760	812	7	69	604	890	2	5,127
小 計	4,503	4,095	408	4,130	2,044	2,086	28	166	1,452	2,484		13,667
瓦木消防署	2,757	2,462	295	2,482	1,248	1,234	11	99	827	1,545		8,410
甲東分署	1,746	1,633	113	1,648	796	852	17	67	625	939		5,257
小 計	1,733	1,612	121	1,649	827	822	14	79	708	848		5,220
北消防署	846	785	61	799	399	400	9	38	296	456		2,538
山口分署	887	827	60	850	428	422	5	41	412	392		2,682

月別・休日・曜日別救急出動状況

区分 事故種別	月別												休日						合 計
	月												日						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
合計	2,007	1,829	1,998	1,899	1,805	1,686	2,040	2,003	1,760	1,804	1,893	2,126	3,381	3,298	3,047	3,145	3,210	3,351	3,418
火災			1		3				2	1	2		1		1	2		2	3
自然災害		1		2									2	1					
水難	1		1					2	4	1	1		2		1	1	6		
交通	129	138	156	159	147	140	154	161	147	136	172	173	238	282	230	238	241	295	288
労働災害	14	12	3	12	15	15	17	24	15	10	9	12	19	22	22	21	29	29	16
運動競技	7	10	19	26	17	18	27	32	21	12	15	12	58	15	13	24	19	34	53
一般負傷	365	277	349	334	304	268	301	281	291	311	335	381	604	508	478	512	518	558	619
加害	8	9	6	14	6	9	8	12	13	9	8	11	22	13	8	14	18	13	25
自損行為	16	14	12	23	23	9	11	15	12	22	11	17	23	24	27	28	30	22	31
急病	1,277	1,195	1,256	1,161	1,145	1,072	1,333	1,306	1,087	1,136	1,164	1,331	2,206	2,117	1,979	1,988	2,009	2,052	2,112
その他	190	173	195	168	145	155	189	170	168	166	176	189	206	316	288	317	340	346	271

# 救 助 統 計



消防救助技術近畿地区指導会





# 救 助 の 概 要

## 1 概況

平成28年中の救助出動件数は436件救助活動件数は255件救助人員は197人となっている。前年と比較すると、出動件数は20件、活動件数は8件増加している。また、救助人員は17人減少している。

## 2 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、建物事故166件(38%)、交通事故42件(10%)、火災4件(1%)、水難事故13件(3%)、ガス・酸欠事故4件(1%)、機械事故7件(2%)、その他の事故200件(45%)、となっている。

前年と比較すると、火災で2件、交通事故で4件、水難事故で4件、ガス・酸欠事故で3件、その他の事故で24件増加し、機械事故で1件、建物事故で16件減少している。

## 3 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、建物事故136件(53%)、交通事故13件(5%)、火災4件(2%)、水難事故9件(3%)、ガス・酸欠事故2件(1%)、機械事故5件(2%)、その他の事故86件(34%)となっている。

前年と比較すると、火災で2件、水難事故で3件、ガス・酸欠事故で1件、その他の事故で17件増加し、交通事故で1件、建物事故で14件減少している。

## 4 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、火災で2人(1%)、交通事故15人(8%)、水難事故6人(3%)、機械事故11人(6%)、建物事故127人(64%)、ガス・酸欠事故で2人(1%)、その他の事故34人(17%)となっている。

前年と比較すると、火災で2人、水難で1人、機械事故で1人、ガス・酸欠事故で1人増加し、交通事故で3人、建物事故で19人減少している。

## 救 助 出 動 状 況

事故種別 管轄署別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス	裂	の
		計	災	故	故	害	故	故	酸	事	事
		計	故	故	故	故	故	故	欠	故	故
合 計	出動件数	436	4	42	13		7	166	4		200
	活動件数	255	4	13	9		5	136	2		86
	救助人員	197	2	15	6		11	127	2		34
	出動台数	1066	49	139	78		12	323	9		456
	出動人員	3811	199	474	281		39	1146	29		1643
西 宮	出動件数	153	3	9			2	64	2		73
	活動件数	97	3	3			1	55	1		34
	救助人員	72	1	5			5	51	1		9
	出動台数	344	37	25			3	124	5		150
	出動人員	1360	168	99			13	477	20		583
鳴 尾	出動件数	145	1	9	10		1	69	1		54
	活動件数	84	1	3	6		1	54			19
	救助人員	73	1	3	5		3	54			7
	出動台数	347	12	26	59		2	133	2		113
	出動人員	1185	31	98	217		6	446	3		384
瓦 木	出動件数	85		5	1		2	28			49
	活動件数	52		4	1		2	23			22
	救助人員	32		3			2	19			8
	出動台数	190		12	7		3	56			112
	出動人員	664		41	26		9	193			395
北	出動件数	53		19	2		2	5	1		24
	活動件数	22		3	2		1	4	1		11
	救助人員	20		4	1		1	3	1		10
	出動台数	185		76	12		4	10	2		81
	出動人員	602		236	38		11	30	6		281

## 発 生 場 所 別 出 動 状 況

発生場所別		事故種別	合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	
				建 物	建 物 以 外									
合 計			436	4		42	13		7	166	4		200	
屋 内	住 居		304	4						157	1		142	
	その他の屋内		16						5	5	1		5	
屋 外	道 路	名 神 高 速	1			1								
		中国自動車道	7			5							2	
		山陽自動車道	1			1								
		阪 神 高 速												
		一 般 道 路	29			27								2
	内 水 面	河 川	13					7						6
		湖 ・ 沼												
		池												
		プ ー ル												
		そ の 他												
	外 水 面	海	6					6						
		そ の 他												
		山 岳	12											12
		そ の 他	47			8			2	4	2			31
	地 下													
	そ の 他													

## 月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	一 九	加 入	駆 付	そ の 他
合計	436	255	197	4	42	13		7	166	4		200	292	133	2	9
1月	40	25	22		2	1			23	2		12	27	11		2
2月	37	19	15		6	1			16	1		13	19	17		1
3月	34	20	16	1	7				14			12	27	6		1
4月	39	20	20	1	3	1			14			20	27	12		
5月	39	21	13	1	4				12			22	29	10		
6月	39	27	14		1	1		1	13			23	24	14		1
7月	42	24	18		1			2	20	1		18	30	10	1	1
8月	43	22	22		4	1		1	12			25	28	14		1
9月	27	20	15		3	5		1	11			7	18	8		1
10月	19	12	9		1	2		1	6			9	13	6		
11月	31	16	11	1	4	1			9			16	21	8	1	1
12月	46	29	22		6			1	16			23	29	17		

## 救助出動状況の推移

年 別 区 分		平成28年		平成27年		平成26年		平成25年		平成24年	
出 動 件 数		436件		416件		326件		348件		328件	
事 故 種 別	火 災	4件	1%	2件	1%	10件	3%	5件	1%	8件	2%
	交 通	42件	9%	38件	9%	44件	13%	42件	12%	48件	15%
	水 難	13件	3%	9件	2%	8件	2%	11件	3%	12件	4%
	自 然					1件	1%	2件	1%		
	機 械	7件	2%	8件	2%	3件	1%	3件	1%	2件	1%
	建 物	166件	38%	182件	43%	134件	42%	132件	38%	151件	46%
	ガス・酸欠	4件	1%	1件	1%	4件	1%	8件	2%	3件	1%
	破 裂										
	そ の 他	200件	46%	176件	42%	122件	37%	145件	42%	104件	31%
活 動 件 数		255件		247件		205件		227件		212件	
事 故 種 別	火 災	4件	2%	2件	1%	10件	5%	5件	2%	8件	4%
	交 通	13件	5%	14件	6%	17件	8%	21件	9%	19件	9%
	水 難	9件	3%	6件	2%	5件	2%	5件	2%	7件	3%
	自 然					1件	1%	1件	1%		
	機 械	5件	2%	5件	2%	2件	1%	3件	1%		
	建 物	136件	53%	150件	60%	114件	56%	112件	49%	127件	60%
	ガス・酸欠	2件	1%	1件	1%	3件	1%	7件	3%	3件	2%
	破 裂										
	そ の 他	86件	34%	69件	28%	53件	26%	73件	33%	48件	22%
救 助 人 員		197人		164人		164人		206人		184人	
事 故 種 別	火 災	2人	1%			7人	4%	8人	4%	2人	1%
	交 通	15人	8%	18人	6%	17人	10%	26人	13%	22人	12%
	水 難	6人	3%	5人	2%	4人	2%	5人	2%	5人	3%
	自 然					1人	1%				
	機 械	11人	6%	10人	2%	3人	2%	6人	3%		
	建 物	127人	64%	146人	60%	108人	66%	121人	59%	126人	68%
	ガス・酸欠	2人	1%	1人	1%			4人	2%	1人	1%
	破 裂										
	そ の 他	34人	17%	34人	28%	24人	15%	36人	17%	28人	15%
内 訳	男 性	90人		113人		100人		105人		94人	
	女 性	106人		101人		64人		101人		90人	
出 動 台 数		1,066台		961台		886台		889台		890台	
出 動 人 員		3,811人		3,429人		3,277人		3,224人		3,188人	

### 隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
合計		6	32	113	
		10	38	129	
尼崎市		2	10	38	
		8	33	110	
宝塚市		2	13	43	
		1	3	11	
芦屋市					
		1	2	8	
神戸市		2	9	32	

※上段は応援、下段は被応援を示す

### 所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(平成29年4月1日現在)

所属別		空気容器						酸素容器			アセチレン
		合計	4.70	6.80	8.40	100	150	合計	40	60	30
合計		448	15	381	8	24	20	7	1	6	0
局											
		7	7								
西宮	本署	10				5	5	2		2	
		98	2	96							
北夙川											
		29	2	27							
鳴尾	本署	10				5	5	2		2	
		55		55							
浜											
		19		19							
瓦木	本署	16				12	4	1	1		
		67		61	6						
甲東											
		25		25							
北	本署	8				2	6	2		2	
		75	2	71	2						
山口											
		29	2	27							

※下段は軽量容器を示す

## 主な救助器具配置状況

(平成29年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	16		4	4	4	4
三連はしご	19		5	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	26		6	10	5	5
油圧ジャッキ	15		5	4	4	2
油圧スプレッダー	19	1	6	5	5	2
可搬式ウインチ	8		2	2	2	2
マンホール救助器具	4		1	1	1	1
エンジンカッター	26		8	6	7	5
ガス溶断機	4		1	1	1	1
チェーンソー	23		5	5	7	6
各種ガス酸素濃度測定器	12		3	3	3	3
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	192	4	49	39	58	42
投光器一式	30		9	3	8	10
隊員用自動携帯警報器	141		35	31	49	26
画像探索機Ⅰ型	1		1			
画像探索機Ⅱ型	4		1	1	1	1
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	2	1	1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	6		2	4		
潜水器具一式	20		5	5	5	5
救命ボート	12		3	3	3	3
船外機	3		1	1	1	
バスケット担架	5		1	2	1	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	18	1	5	4	4	4
ハンマードリル	14		4	3	5	2
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	52	34	9			9
*化学防護服	20		5	5	5	5
送排風機	6		3	1	1	1
緩降機	10		3	3	1	3
超音波水中無線機	2		2			
*除染シャワー	2		1			1
チェーンブロック	1		1			
簡易画像探索機	1		1			
*有毒ガス検知管	3	1	1			1

\*については、消防庁から借受しているものも含む





# 消 防 通 信



通信指令室



# 指令業務の概要

## 1 通信施設保守整備の推進

- (1) 無線設備
  - ア 携帯型（署活動用）無線機21台を更新した。（総数251台）
  - イ バッテリーの老朽化に伴い、携帯型（署活動用）無線機用84個を更新した。
- (2) 有線設備
  - 情報送受信等における通信網確保のため、老朽化した総務部、警防部、西宮署のファクシミリの更新を行った。
- (3) 防災サイレン
  - 西宮署と甲東分署を除き（庁舎建替え予定のため）、撤去した。

## 2 通信業務対応能力の向上

- (1) 各種システムの取扱い
  - 救急医療情報システム及び位置情報通知システム等により、迅速かつ正確な情報収集及び伝達を図った。
- (2) 研修
  - ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修とともに阪神地区消防長会救急隊員研修会の受講並びに実技研修を行った。
  - イ 発生した災害をもとに検討会を実施し、災害対応力の強化を図った。
  - ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。
  - エ 消防緊急情報システムの円滑な取扱技術の習得を図るため取扱研修を実施した。
  - オ 人事異動に伴い、局内職員を対象とした非常順次通報装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の取扱い及び応答要領等の習熟に努めた。
  - カ 各署の月別警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。
  - キ 異動転入者を対象に各機器の操作研修を実施し、技術の早期習熟を図った。
  - ク 119番分散受信訓練を実施し、指令課の119番回線遮断時の対応能力の習得を図った。
- (3) 広報
  - 消防情報（災害情報、119番のかけ方等）、病院情報等をテレホンサービスや市政ニュース、さくらFM等の媒体を利用した広報を行い、適正な119番通報の認識の普及に努めた。

## 3 消防緊急情報システムの運用管理等

- (1) 消防緊急情報システムの運用管理
  - 策定した指令業務の障害レベル決定基準を基に、システム障害を想定したマニュアル指令訓練を実施し、指令課員のシステム復旧までの対応技術並びに危機管理体制のより一層の向上を図った。
- (2) 各種支援情報の更新及び維持
  - システムの機能を最大限に発揮、活用するために水利、道路情報等の各種支援情報を随時更新するとともに、地図検索装置の地図情報を定期的に更新した。
- (3) 消防緊急情報システムの維持
  - 年間計画により、システム機器類の定期点検を行い、障害発生の予防及び障害発生時の早期復旧対応の確立を図った。
- (4) 消防救急無線の維持管理
  - デジタル化された消防救急無線機器等の瑕疵担保期間が満了することに伴い、契約保守管理体制の見直しを図った。

# 消防通報用電話(119番)月別受信状況

(平成28年中)

種別 月	緊急通報							照会							その他				総 受 信 件 数	1 日 平 均	テ ス ト	テ ス ト を 含 む 総 計	1 日 平 均	
	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	事 故	そ の 他	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	事 故	そ の 他	病 院 照 会	小 計	間 違 い	いた ず ら						そ の 他
1月	1,971	14	1,918	19		18	2	499	3	21	1		4	1	469	344	203	28	113	2,814	90.8	68	2,882	93.0
	648	2	638	2		5	1	153		7				146	42	28	4	10	843	8		851		
	751	10	717	15		8	1	281	1	8	1		4		267	180	129	13	38	1,212		7	1,219	
2月	1,813	17	1,742	14	1	33	6	488	3	14	1		2		468	282	179	18	85	2,583	89.1	68	2,651	91.4
	568	2	559	1		6		148		5				143	43	38		5	759	14		773		
	762	10	717	10	1	18	6	275	1	4	1		2		267	137	104	9	24	1,174		1	1,175	
3月	2,031	19	1,966	18		27	1	515	6	17			2	1	489	316	159	45	112	2,862	92.3	151	3,013	97.2
	682	4	670	1		6	1	171	1	10			1		159	36	19	2	15	889		27	916	
	813	12	768	16		17		260	2	5					253	157	101	26	30	1,230		47	1,277	
4月	1,953	12	1,903	12		20	6	425	5	17			1		402	381	186	45	150	2,759	92.0	81	2,840	94.7
	617	2	609	1		5		106	1	6				99	43	19	2	22	766	9		775		
	859	6	827	8		13	5	244		8			1		235	184	110	22	52	1,287		12	1,299	
5月	1,833	14	1,775	15		23	6	411	4	16			3	2	386	374	180	37	157	2,618	84.5	137	2,755	88.9
	555	3	542	3		5	2	124	2	3			1		118	53	29	4	20	732		26	758	
	795	11	754	12		16	2	224		10			2	1	211	200	116	23	61	1,219		11	1,230	
6月	1,738	14	1,668	15	1	22	18	359	2	29	1			1	326	338	178	34	126	2,435	81.2	109	2,544	84.8
	532	1	520	1		4	6	93	1	7				85	36	20	4	12	661	17		678		
	781	6	742	10		14	9	221	1	17	1				202	158	102	18	38	1,160		6	1,166	
7月	2,080	14	2,002	21		26	17	454	3	47	1		1	5	397	402	199	58	145	2,936	94.7	40	2,976	96.0
	611	2	596	4		5	4	143		11			1		131	47	26	3	18	801		1	802	
	934	6	884	13		19	12	238	1	23				4	210	201	135	36	30	1,373		6	1,379	
8月	2,040	10	1,956	17		28	29	465	3	32	1	1	2	5	421	408	207	37	164	2,913	94.0	52	2,965	95.6
	594	3	581	2		6	2	128		7			1	120	55	27	5	23	777	7		784		
	860	6	814	13		15	12	249	1	13			1	3	231	199	133	21	45	1,308		4	1,312	
9月	1,824	56	1,719	18		18	13	408	15	28	1		1	5	358	398	155	45	198	2,630	87.7	42	2,672	89.1
	522	14	500	2		2	4	117	3	13				101	52	25	2	25	691	5		696		
	806	32	742	16		10	6	240	7	13	1		1	3	215	168	92	25	51	1,214		1	1,215	
10月	1,831	9	1,774	12		26	10	401		21			2	4	374	410	164	52	194	2,642	85.2	43	2,685	86.6
	540		536			3	1	133		1				132	66	25	4	37	739	6		745		
	795	9	755	10		17	4	215		15			2	2	196	162	102	23	37	1,172		6	1,178	
11月	1,916	5	1,843	18		34	16	404	3	32				2	367	430	141	17	272	2,750	91.7	87	2,837	94.6
	584	2	569	6		4	3	102	1	4				97	80	23	3	54	766	11		777		
	808	2	761	12		22	11	241	1	19				2	219	139	82	9	48	1,188		40	1,228	
12月	2,147	1	2,082	22		26	16	533	2	40				3	488	397	138	28	231	3,077	99.3	51	3,128	100.9
	617		610	3		4		145	1	5				139	73	24	8	41	835	7		842		
	948	1	902	15		20	10	301	1	20				1	279	123	65	10	48	1,372		12	1,384	
合計	23,177	185	22,348	201	2	301	140	5,362	49	314	6	1	18	29	4,945	4,480	2,089	444	1,947	33,019	90.2	929	33,948	92.8
	7,070	35	6,930	26		55	24	1,563	10	79			3	1	1,470	626	303	41	282	9,259		138	9,397	
	9,912	111	9,383	150	1	189	78	2,989	16	155	4		13	16	2,785	2,008	1,271	235	502	14,909		153	15,062	
1日 平均	63.3	0.5	61.1	0.5		0.8	0.4	14.7	0.1	0.9				0.1	13.5	12.2	5.7	1.2	5.3	90.2	/	2.5	92.8	/
割合	70.2%	0.6%	67.7%	0.6%	0.0%	0.9%	0.4%	16.2%	0.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	15.0%	13.6%	6.3%	1.3%	5.9%	100.0%		2.7%		

(注) ※上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数内数、下段は携帯電話の119番受信件数内数  
 ※種別～その他のその他は、通報訓練・緊急通報のテスト及び誤作動等  
 ※「水防」は、防災指令第1号以上をいう  
 ※最下段の1日平均及び割合については、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までの表示



### 気象情報等月別発令状況

種別	月別												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
警報	大雨					3			2				5	
	洪水					3			2				5	
	暴風		1		1	2			1	1			6	
	波浪		1		1	2			1	1			6	
	高潮												0	
	大雪												0	
	大津波												0	
小計	0	2	0	2	4	6	0	0	6	2	0	0	22	
注意報	大雨		2		4	5	6	6	13	10	5		1	52
	洪水		2		4	5	5	6	9	9	5		1	46
	強風	9	18	9	20	13	11	2	4	6	5	4	8	109
	波浪	10	19	9	18	13	11	2	4	6	5	4	8	109
	高潮				1		1		2	4	9	1		18
	大津波													0
	大雪													0
	風雪	2	1										1	4
	着雪													0
	なだれ													0
	濃霧	1		1		1						1		4
	低温	4										1		5
	霜	4	13	11	10	11	22	15	37	15	11	2	6	157
	乾ばり	10	13	23	8	9			3	1	5	2	2	76
	着氷													0
小計	40	68	61	67	57	56	31	72	51	45	15	27	590	
情報	雨		2				7		13	22			2	46
	雪(降雹)	16		6									7	29
	雷			6	2	2	9		10	22	4	3	8	66
	高波浪	16	4		15	6								41
	低温	1												1
	高温							2	18	1				21
	台風									22	7			29
	梅雨													0
	強風(突風)	6	4		15	7	9		13	22	4	3	8	91
	寒気													0
	一番													0
	気圧配置	3												3
	津波												1	1
	地震													0
	日照不足													0
その他				1			1	3	2				7	
火災気象通報	6	8	4	5	3	4		2		3	1	6	42	
光化学スモッグ													0	
小計	48	18	16	38	18	29	3	59	91	18	7	32	377	
合計	88	88	77	107	79	91	34	131	148	65	22	59	989	

### 発令された防災指令等

緊急出動指令														0
応急対策指令														0
防災指令第1号														0
防災指令第2号														0
防災指令第3号														0
水防警戒指令									2					2
水防指令第1号									1					1
水防指令第2号														0
水防指令第3号														0
国土大臣が発する水防警報														0
火災警報														0
火災注意報														0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3

## 消防テレホンサービス利用状況

月別	利用件数	1日平均 利用件数	利 用 状 況		
			災害情報利用数	病院情報利用数	消防情報利用数
1月	594	19	286	253	55
2月	511	18	207	255	49
3月	506	16	217	197	92
4月	423	14	197	190	36
5月	518	17	228	203	87
6月	485	16	249	175	61
7月	423	14	142	226	55
8月	408	13	79	298	31
9月	1,104	37	560	315	229
10月	536	17	214	234	88
11月	579	19	284	209	86
12月	561	18	175	319	67
合 計	6,648	18	2,838	2,874	936

- 1 病院情報 【平日】17:00～翌朝8:00  
【土曜】11:00～翌朝8:00  
【日曜・祝日】8:00～翌朝8:00
- 2 消防情報 24時間
- 3 災害情報 災害(建物・林野火災)発生時随時





# 車 両 整 備



平成28年度更新 消防車両



## 車 両 整 備 の 概 要

平成28年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

### 車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、はしご付消防ポンプ自動車(はしご車) 1台、水槽付消防ポンプ自動車(タンク車) 1台及び活動支援車 2台を更新購入し、消防及び救急救助体制の充実強化を図った。

- 1 はしご付消防ポンプ自動車  
瓦木消防署に35m級先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車(はしご車)を購入した。
- 2 水槽付消防ポンプ自動車  
甲東分署に水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)を購入した。
- 3 活動支援車  
浜分署及び山口分署に活動支援車を購入した。

車 種 別	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
はしご付消防ポンプ自動車	瓦木3	平成28年9月21日	瓦木消防署	更 新
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	甲東2	平成29年3月21日	甲東分署	更 新
活 動 支 援 車	浜7	平成28年12月16日	浜分署	更 新
活 動 支 援 車	山口7	平成28年12月16日	山口分署	更 新

## 点 検 整 備 等

(平成28年度中)

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		35	62	90	152	704
消 防 局		11	8	23	31	174
西 宮	小 計	6	10	18	28	141
	本 署	5	10	10	20	90
	北夙川	1	0	8	8	51
鳴 尾	小 計	6	17	15	32	129
	本 署	3	11	10	21	84
	浜	3	6	5	11	45
瓦 木	小 計	6	17	16	33	128
	本 署	4	13	9	22	81
	甲 東	2	4	7	11	47
北	小 計	6	10	18	28	132
	本 署	3	7	12	19	86
	山 口	3	3	6	9	46

# 消 防 団



消防団消防操法大会



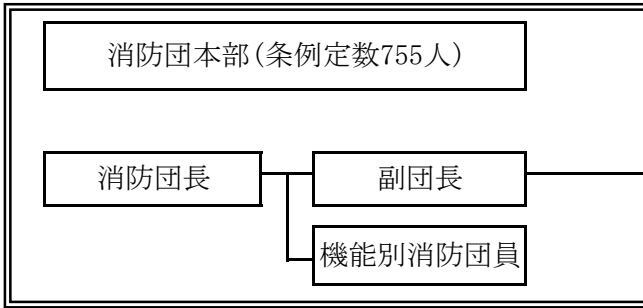
## 西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年 4 月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年 2 月	勅令（第15号）消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年 4 月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年 7 月	勅令（第20号）警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年 2 月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年 5 月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年 9 月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年 4 月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年 4 月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年 4 月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年 4 月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年 4 月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年 3 月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成8年 4 月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年 11 月	瓦木分団車庫竣工
平成9年 4 月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年 9 月	防災資機材（8品目）を33分団に配置完了（4年計画）
平成11年 2 月	建石分団車庫竣工
平成11年 3 月	高木分団車庫竣工
平成12年 2 月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年 3 月	名塩分団木之元班車庫竣工
平成16年 3 月	浜脇分団車庫竣工
平成17年 4 月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年 12 月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年 6 月	機能別消防団員制度発足

平成22年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成23年 12 月	下山口分団車庫竣工
平成25年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成25年 12 月	津門分団車庫竣工
平成26年 12 月	鳴尾北分団車庫竣工
平成28年 12 月	段上分団車庫竣工



# 消防団の組織



消防分団配置状況



- 浜脇分団
  - 用海分団
  - 建石分団
  - 今津分団
  - 津門分団
  - 安井分団
  - 大社分団
  - 芦原分団
  - 夙川分団
  - 越木岩分団
  - 段上分団
  - 門戸分団
  - 上ヶ原分団
  - 下大市分団
  - 神呪分団
  - 上大市分団
  - 高木分団
  - 瓦木分団
  - 甲子園口分団
  - 上甲子園分団
  - 鳴尾中分団
  - 鳴尾西分団
  - 鳴尾北分団
  - 小松分団
  - 小曾根分団
  - 鳴尾東分団
  - 名来分団
  - 下山口分団
  - 上山口分団
  - 中野分団
  - 船坂分団
  - 生瀬分団
  - 名塩分団
- Regional Groupings:
- 本庁南地区: 浜脇分団, 用海分団, 建石分団, 今津分団, 津門分団
  - 本庁北地区: 安井分団, 大社分団, 芦原分団, 夙川分団, 越木岩分団, 段上分団
  - 甲東地区: 門戸分団, 上ヶ原分団, 下大市分団, 神呪分団, 上大市分団
  - 瓦木地区: 高木分団, 瓦木分団, 甲子園口分団, 上甲子園分団
  - 鳴尾地区: 鳴尾中分団, 鳴尾西分団, 鳴尾北分団, 小松分団, 小曾根分団, 鳴尾東分団
  - 山口地区: 名来分団, 下山口分団, 上山口分団, 中野分団, 船坂分団
  - 塩瀬地区: 生瀬分団, 名塩分団

# 消 防 団 自 動 車 現 況

(平成29年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齢 (年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 平成16	16. 5. 24	13	1,480	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	6	4,800	A-2級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	6	4,800	〃	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	5	4,640	〃	
今 津 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	1	4,620	〃	
津 門 分 団	いすゞ 平成14	14. 11. 12	15	4,530	〃	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	6	4,800	〃	
大 社 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	2	4,490	〃	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	4	4,770	〃	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	5	4,640	〃	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	4	4,770	〃	
段 上 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	2	4,540	〃	
門 戸 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	14	4,540	〃	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	14	4,540	〃	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成14	14. 11. 12	15	4,530	〃	
神 呪 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	1	4,620	〃	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	3	4,690	〃	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	5	4,640	〃	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	14	4,540	〃	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	3	4,720	〃	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	4	4,770	〃	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	8	4,710	〃	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	3	4,720	〃	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	7	4,710	〃	
小 松 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	1	4,620	〃	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	7	4,710	〃	
鳴 尾 東 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	1	4,620	〃	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	9	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 平成16	16. 10. 22	13	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
上 山 口 分 団	いすゞ 平成16	16. 10. 22	13	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
〃 金仙寺班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	8	4,710	〃	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	9	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	いすゞ 平成19	19. 9. 19	10	4,610	〃	トーハツ V 20 B
生 瀬 分 団	いすゞ 平成14	14. 11. 12	15	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
〃	日 野 平成27	27. 10. 16	2	4,560	〃	シバウラ T F 520SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	7	4,940	〃	シバウラ T F 520SH
〃	いすゞ 平成16	16. 10. 22	13	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
〃 木之元班	いすゞ 平成19	19. 9. 19	10	4,610	〃	トーハツ V 20 B
〃 東久保班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	9	4,680	〃	シバウラ T F 516SH

## 消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(平成29年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
計	1	7	33	36	37	111	495	720
5年未満						4	154	158
5～9年			1	1		7	131	140
10～14年					3	16	88	107
15～19年			1	3	5	26	67	102
20～24年		1	6	11	14	38	33	103
25～29年		1	10	10	6	14	13	54
30年以上	1	5	15	11	9	6	9	56

※ 団員平均 14年1ヶ月

## 消 防 団 員 年 齢 状 況

(平成29年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
計	1	7	33	36	37	111	495	720
20歳未満							2	2
20～24歳							22	22
25～29歳							29	29
30～34歳						1	59	60
35～39歳				1		6	66	73
40～44歳					3	19	95	117
45～49歳			1	3	8	32	87	131
50～54歳			6	8	11	24	53	102
55～59歳		1	7	5	5	16	40	74
60歳以上	1	6	19	19	10	13	42	110

※ 団員平均 46歳11ヶ月

## 消防団費と市民負担

(平成29年4月1日現在)

消 防 団 費	予 算 額	1 世帯当り	人 口 1 人 当 り
	267,046千円	1,265円	547円

## 消 防 団 出 動 状 況

(平成28年度中)

種別 区分	合 計	火 災	水 災	警 戒	捜 索	訓 練
出動回数	811	43		8		760
出動分団数	1,802	171		211		1,420
出動車両数	1,601	117		257		1,227
出動団員数	11,079	1,123		1,718		8,238

## 消 防 団 訓 練 実 施 内 容

(平成28年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	31	32	32	255
西宮市消防出初式	1	33	37	390
「文化財防火デー」に伴う消防訓練	1	5	5	26
西宮市消防団消防操法大会	1	33	33	213
春の全国火災予防運動・訓練	7	194	33	706
西宮市総合防災訓練	1	9	5	45
秋の全国火災予防運動・訓練	7	195	206	709

※県消防操法大会除く

## 派 遣 研 修 及 び 教 育 訓 練 実 施 状 況

(平成28年度中)

種別 区分	合 計	県 消 防 学 校	新 入 団 員 等 研 修	機 関 員 研 修	ポ ン プ 操 法 訓 練	訓 練 礼 式	資 器 材 等 取 扱 訓 練	ポ ン プ 取 扱 訓 練	電 撃 操 法 想 定 訓 練	安 全 管 理 講 習	救 急 講 習	結 索 訓 練
回 数	93	3	2	1	67	7	2	6	2		3	
人 員	1,999	84	39	37	1,164	174	91	275	85		50	

※分団定例訓練は除く

## 団員の職業別

(平成29年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 道 路	水 道	運 通 輸 信	卸 小 販 売	飲 食 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他	学 生 職 等
720	23		100	93	26		56	112		23	21	190	29		47

## 表彰

(平成28年度中)

種 別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
階級別						
合 計	3	9	10	25	35	17
西 宮 市 消 防 団						
分 団						
消 防 団 長						
副 団 長						
分 団 長	3	5	3	2	1	
副 分 団 長			7	4	1	
部 長		2		10	2	
班 長				8	11	1
団 員		2		1	20	16



消 防 年 報

(平成28年版)

発 行 平成29年 8 月

編 集 西宮市消防局総務部企画課  
〒662-0911

西宮市池田町13番3号

T E L 0798-26-0119

ホームページアドレス

[http://www.nishi.or.jp/navi/ln\\_0010100000.html](http://www.nishi.or.jp/navi/ln_0010100000.html)

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！

